

## 第Ⅱ部 地区福祉計画

地域福祉活動の基盤となる各地区福祉委員会の活動は、各々の地域性や生活課題を反映させて取り組んでいきます。

地域福祉推進計画と同様に、8年間の長期計画を策定し4年目に評価と見直しをおこないます。

- ①久代小地区福祉委員会
- ②加茂小地区福祉委員会
- ③川西小地区福祉委員会
- ④桜小地区福祉委員会
- ⑤北小地区福祉委員会
- ⑥明峰小地区福祉委員会
- ⑦多田地区福祉委員会
- ⑧多田東地区福祉委員会
- ⑨グリーンハイツ地区福祉委員会
- ⑩清和台地区福祉委員会
- ⑪けやき坂小地区福祉委員会
- ⑫東谷地区福祉委員会
- ⑬大和地区福祉委員会
- ⑭北陵地区福祉委員会

各地区福祉委員会が策定した「地区福祉計画」と市社協が策定した「地域福祉推進計画」は、各々役割の分担と協力をして地域福祉をすすめていく計画です。

これまで地区福祉委員会が大切にしてきた、住民相互の「見守り」「つながり」「支えあい」をさらに強め、安心できる地域を目指します。

さらに、多様な住民が地域で活躍できるよう「参加、参画、居場所の確保」を充実するとともに、さまざまな生きづらさを含めた多様性の理解も広がるような「福祉教育」に取り組みます。

地区福祉委員会の尊い活動を持続するための、広報・連携・財源・人材などの「基盤活動」についても、検討の場を設け対策を講じていきます。



## 久代小地区福祉委員会 第5次地区福祉計画

### 地区の特徴

川西市の最も南に位置し大阪空港からの飛行ルートの下下です。地域は住宅、工場、田畑が混在していますが、大阪、神戸への交通の利便性でマンション、一戸建ての新築が増加しています。地区に県立西猪名寺公園があり、春のお花見、夏のウォーターランド、また運動施設もあり多くの人で賑わいます。福祉活動では「ふれあい」「見守り」「支え合い」活動を通じて住民の皆さまとともに、安全、安心の明るいまちづくりに取り組んでいます。

### 久代小地区の人口、世帯数、高齢化率

人口などのデータは  
コチラ→



かわナビは  
コチラ→



### 福祉目標

誰もが参加 つながり合える やさしい久代。

### 地区の重点事業



重点1

福祉活動を担う人材発掘と育成



重点2

誰もが参加できる居場所づくり



重点3

交流の場を広げる

### 地区別ワークショップでの意見

- ◇子ども、男性、外国人の方等の居場所、交流の場の取り組みが必要
- ◇高齢者が多くイベントのできない自治会に出張応援する
- ◇若い人にも関心を持ってもらえるよう広報活動にSNS等も活用する
- ◇移動販売車がくることで買い物支援、交流の場になっている

### 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- ◇活動者の高齢化が大きな課題
- ◇広報活動の方法を考える→高齢者のためには紙ベース、若い人にはSNS活用などで広く福祉活動をアピールしていく
- ◇各自治会で分散して交流事業などを開催し、今参加できない人も気軽に行けるようにする
- ◇新しくボランティアグループを立ち上げる

現在の地区の取り組み

- ふれあいひろば「久代」
- ふれあいカフェ「くしろ」
- 福祉ネットワーク会議
- 障がいのある方との交流
- 避難行動要支援者支援活動
- 介護予防教室
- 福祉委員会広報紙発行
- ふれあいサロン(合同)
- 三世代交流イベント
- 福祉講座
- にこにこ会ボランティア会活動
- キャラバンメイト活動支援
- 子育てひろば「おうまのおやこ」・「みるく」
- 福祉委員研修会 等多数

○久代会館



福祉ネットワーク会議

開催事業

ふれあいひろば「久代」・ふれあいカフェ「くしろ」・子育てひろば「おうまのおやこ」「みるく」・福祉講座・福祉ネットワーク会議・キャラバンメイト活動・介護予防教室・三世代交流事業・「いきいきクラブ」・「訪問型たすけあい活動」

○川西南公民館



開催事業：ふれあいサロン(合同)

○東久代会館



ふれあいひろば「久代」

開催事業

ふれあいひろば「久代」・ふれあいカフェ「くしろ」・三世代交流事業・介護予防教室

○西久代会館



ふれあいひろば「久代」

開催事業

ふれあいひろば「久代」・介護予防教室・三世代交流事業

○エンゼルハイムふれあい会館



三世代交流事業

開催事業

ふれあいひろば「久代」・三世代交流事業

久代小地区の自治会

久代新生会自治会・久代自治会・北久代自治会・摂代自治会・エンゼルハイム自治会・Gパーク北伊丹自治会・東久代1丁目三葉会自治会・高芝自治会・東久代西町自治会・東久代むつみ自治会





## 福祉活動を担う人材発掘と育成

### 重点1



#### 目的

幅広い世代の人材を発掘、育成することで、誰もが身近に「福祉」を捉え、まちづくりを推進する。

#### 具体的取り組み

- ▶ 福祉委員会の組織のあり方について見直しをする。
- ▶ 福祉ネットワーク会議で人材発掘を協議する。
- ▶ 福祉委員会の活動を住民にアピールする。
  - ① イベント等で若者募集を行う。また、若い人にアピールするためにSNS（Instagram等）を活用する。
  - ② 今まで通り、掲示板や自治会の回覧等を活用した啓発活動を推進する。
  - ③ 新規事業として訪問型助けあい活動を広く周知する。
- ▶ 育成として定期的に研修会を開催する。
  - ① 従来通り、年度初めに福祉委員を対象としたわかりやすく、楽しい研修会を開催する。



## 誰もが参加できる居場所づくり

### 重点2

#### 目的

誰もが気兼ねなく、立ち寄れる場所があることで孤立せず安心して過ごせる環境をつくる。

#### 具体的取り組み

- ▶ 現在ある居場所の現状維持・充実
  - ① 現在開催されている「ふれあいひろば」や「ふれあいカフェ」等を継続しつつ、住民のニーズに応じた新しい居場所づくりを行っていく。
- ▶ 参加者の特技を生かした生きがいづくり（健康麻雀、囲碁、将棋、編み物、折り紙等）  
多世代交流ができる常設の居場所づくりを検討する。
- ▶ 誰もが気軽に集える居場所として脳トレ事業「いきいきクラブ」を初心者、女性、子どもでも参加しやすい事業として充実させる。
- ▶



## 交流の場を拓げる



### 目的

今あるつながりはより大切に、また新たなふれあいにより絆を広め、みんなが顔見知りのように声掛けしやすいまちづくりを目指す。

### 具体的取り組み

- ▶ 買い物支援である移動販売から新たな交流を拓げていく。
- ▶ 障がいのある方との交流
  - ①障がい者の事業所と連携し、ふれあいカフェの手伝いやイベント等に参加を呼び掛ける。
- ▶ 外国人の方との交流
  - ①三世代交流イベント等に参加してもらえるように声掛けを行い、地域でのつながりができるよう働きかける。
  - ②料理等を通して、異文化交流を図る。

エンゼルハイムふれあい会館・西久代会館での初めての三世代交流イベントでは、子どもから高齢の方まで多くの参加がありました。子育て世帯や初めて参加される方も多かったです。今後も、地区ごとの特性を考慮しながら継続し、交流の場を拓げていきます。

～三世代交流イベントの様子～



エンゼルハイムふれあい会館



西久代会館



東久代会館での移動販売

## 久代小地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

| 日 程    |           | 内 容        |    |
|--------|-----------|------------|----|
| ▶ 令和5年 | 7月14日(金)  | 地区別ワークショップ | 開催 |
| ▶ 令和5年 | 11月28日(火) | 策定委員会      | 開催 |
| ▶ 令和5年 | 12月1日(金)  | 福祉ネットワーク会議 | 開催 |
| ▶ 令和5年 | 12月20日(水) | 策定委員会      | 開催 |
| ▶ 令和6年 | 1月18日(木)  | 策定委員会      | 開催 |
| ▶ 令和6年 | 1月30日(火)  | 策定委員会      | 開催 |
| ▶ 令和6年 | 2月9日(金)   | 策定委員会      | 開催 |
| ▶ 令和6年 | 2月28日(水)  | 策定委員会      | 開催 |

### □策定委員

高木清美、越智武司、木部美代子、本田美代子、戸川ひろ子、地頭所久恵、向山幸代

## 久代小地区福祉委員会地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名            | 区分    | 内 容   |
|----------------|-------|---|
|                | 新規・重点 | 内容、回数、定期開催の場合は曜日  |
| ふれあいひろば「久代」    | 重点    | お茶会（健康体操や歌など）。毎月水曜日開催。西久代会館（第1）、久代会館（第2）、東久代会館（第3）、エンゼルハイムふれあい会館（第4）              |
| ふれあいサロン（合同）    | 継続    | 年1回地域の一人暮らしの65歳以上の方対象に開催。懇談・会食・余興・ピンゴなどで楽しく過ごしていただく。                              |
| 福祉講座           | 継続    | 福祉意識の向上。人材育成につなげていく。  |
| 福祉ネットワーク会議     | 継続    | 住民の福祉ニーズの把握。情報交換など  |
| ふれあいカフェ「くしろ」   | 重点    | 毎週（木）13：30～15：30 久代会館<br>第1・2・4・5（水）13：30～15：30 東久代会館<br>地域の方の居場所づくりとして平成28年オープン。 |
| 障がいのある方との交流    | 重点    | 現状把握と福祉委員の勉強会・認識の共有など。  |
| 避難行動要支援者支援活動   | 継続    | 災害時安否確認支援（コミュニティ協議会と連携）   |
| 福祉委員会広報活動      | 重点    | 福祉活動の紹介・報告。広報紙年1回3000枚印刷。毎月自治会回覧。掲示板にてイベントなど発信。                                   |
| 訪問型たすけあい活動     | 新規・重点 | 「ちょこっと。スマイル」によるボランティア活動。  |
| キャラバンメイト活動支援   | 継続    | 認知症サポーター養成講座開催など。   |
| 介護予防教室         | 継続    | いきいき元気倶楽部（川西南地域包括支援センターを中心に実施）  |
| 子育て支援「みるく」     | 継続    | 毎月第2・4（金）10：00～11：30 久代会館。0～1歳半の子どもとその保護者対象。親子体操や絵本の読み聞かせなど。                      |
| 子育て支援「おうまのおやこ」 | 継続    | 毎月第4（月）10：00～12：00 久代会館。未就学児とその保護者対象。ママたちのおしゃべりルーム。                               |
| 部会活動助成         | 継続    | 各自治会でひとり暮らしの高齢者との交流会を開催する。  |
| 寝たきり老人お見舞い     | 継続    | 年1回民生委員・児童委員が家庭訪問し見舞品を贈る。   |
| 福祉委員研修会        | 継続    | 福祉委員の資質向上をはかる。  |
| 三世代交流事業        | 重点    | 各会館4か所開催。交流の場づくり。   |
| 脳トレ事業「いきいきクラブ」 | 新規・重点 | 麻雀、囲碁、将棋を通じた交流、居場所づくり。  |

# 加茂小地区福祉委員会 第5次地区福祉計画



## 地区の特徴

加茂小地域は川西市南部に位置し、北はJR宝塚線沿いに、西は宝塚市口谷地区に接し南は中国自動車道、東は寺畑前川沿い、加茂橋から中国自動車道バイパスまでの範囲です。地域内には鴨神社があり、旧石器時代から平安時代の集落跡で特に弥生時代中期には大規模集落が営まれ、平成12年には「加茂遺跡」として国の史跡に指定されました。初夏には桃、盆から秋にかけてはイチジクの収穫等営農に適した地域で近年は宅地化が進み自然環境が狭まりつつあります。数は少ないですがヒメボタルが崖斜面で、最明寺川でゲンジボタルがみうけられます。高齢化率は市内平均より少々低い地域です。福祉活動では「見守りあい」「ふれあい」「支えあい」「つながりあい」活動を通じて「絆～生まれる！こころ豊かなまち加茂」づくりに取り組んでいます。

## 加茂小地区の人口、世帯数、高齢化率

人口などの  
データは  
コチラ→



かわナビは  
コチラ→



## 福祉目標



### “絆”～生まれる！こころ豊かなまち加茂

## 地区の重点事業

重点  
1

あらゆる世代の参加・参画・居場所づくり

重点  
2

見守り・つながる・支えあう共生の地域づくり

重点  
3

誰もが安心して生活できる基盤づくり

重点  
4

災害時の支援体制づくり

## 地区別ワークショップのテーマ

- ◆《地域づくり》 見守り・つながる・支えあう。  
(向こう三軒両隣)
- ◆《高齢者》 趣味を生かした活動の普及促進。
- ◆《障がい者》 障がいのある人との交流の場づくり。
- ◆《子ども》 地域での子どもの居場所づくり支援。

## 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- ◆ 福祉デザインひろばづくり。
- ◆ 人づくり。
- ◆ 遊び場づくり。
- ◆ ネットワークづくり。
- ◆ この期間コロナ感染対策の為殆どの事業が滞る。





重点  
1

あらゆる世代の参加・参画・居場所づくり

目的



高齢者・障がい者・子どもなどあらゆる世代が能力や関心に応じ、参加・参画を通じて地域の中で能力を発揮できる自分の居場所の確保及び、多世代型の交流の場をつくる。

具体的取り組み



- ◆ 井戸端会議のような気軽なおしゃべりの場で、コマ回しなど昔の遊びを子どもと大人が一緒に楽しめる多世代交流ができる居場所をつくる。
- ◆ 居場所の元は会館。まず会館を存続させる課題に取り組む。
- ◆ 活動内容が分からない人も多数いるので、地域別に一覧表（日時・場所・内容等）を作成し、自治会やコミュニティの掲示板に貼ることで、新たな参加者が増えるようにする。

重点  
2

見守り・つながる・支えあう共生の地域づくり

目的

- ①暮らしにおける人と人とのつながりを再構築することで人生における様々な困難に直面した場合でも誰もが役割を持ちお互いが配慮し存在を認め合う。
- ②誰もが支えあい、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会をめざす。

具体的取り組み



- ◆ 挨拶やちょっとした立ち話から見守りする側、される側も負担にならないように気をつけあう。
- ◆ 身近な支援を必要とする人を把握し、地域の関係機関と福祉委員が協力して複数人で見守る体制をつくる。（まず向こう三軒両隣からスタート）
- ◆ 地域内を適度に散歩し見守りにつなげる。また、必要があれば支援者につなげたり、近隣同士で見守ってもらうようにつなげる。



《ひろばサロン会》

第1 拠点《南花屋敷中央会館》



住所 南花屋敷4-11-5  
開催日 毎月第1水曜日  
(1・5・8月お休み)  
開催時間 10時～12時  
対象住民 南花屋敷1・4丁目

第2 拠点《旧ふたば幼稚園》



住所 加茂1-18-30  
開催日 毎月第2木曜日  
(1月お休み)  
開催時間 14時～16時  
対象住民 加茂1・5丁目

重点  
3

誰もが安心して生活できる基盤づくり

目的

誰もが安心して生活を維持できるよう地域住民相互の人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち助け合いながら暮らしていくことのできる地域や社会を創っていく「地域共生社会」の実現に向けた基盤づくりに努める。

具体的取り組み

- ◆年齢・性別・障がいの有無を問わず交流する。体操、モルック、ボッチャなどの誰もが参加できる健康づくりに向けた取り組みを継続していく。
- ◆普段から活動を支援してくれるボランティアを広く募るために、趣味を活かせる場所があると広報を行い、人材を確保する。



重点  
4

災害時の支援体制づくり

目的

地域の中で日ごろの見守り・声掛け活動の中で把握した情報を共有して、防災訓練などに役立てるとともに、災害時には関係機関と安否確認や避難誘導などの支援を行う。

具体的取り組み

- ◆関係機関と連携して協議を行い、役割分担など活動体制を整える。
- ◆災害時の避難経路や避難場所、避難後の具体的な計画など明確化しサロン会や広報紙で住民に周知するとともに、関係機関との連携強化を図る。



《ひろばサロン会》

《第3拠点南花屋敷会館》

住所 南花屋敷3-2-16  
開催日 毎月第3木曜日 (8月お休み)  
開催時間 14時~16時  
対象住民 南花屋敷2・3丁目

《第4拠点加茂会館》

住所 加茂3-8-8  
開催日 毎月第4水曜日  
開催時間 14時~16時  
対象住民 加茂2・3・4丁目

加茂小地区ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

| 日 程   | 内 容            |
|---|----------------|
| ◆ 令和5年 7月11日(火)   | 地区別ワークショップ 開催  |
| ◆ 令和5年11月28日(火)ほか3回   | 地区福祉計画策定委員会 開催 |
| ◆ 策定委員会   |                |
| 藤田 喜志夫・井上 昭子・片山 守・尾野上 一夫・新田 容子<br>岸本 治子・三浦 幸子・藤井 知子・尾上 豊子・森田 淑子 |                |

## 加茂小地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名                     | 区分    | 内 容   |
|-------------------------|-------|---|
|                         | 新規/重点 | 内容、回数、定期開催の場合は曜日  |
| 福祉ネットワーク会議              | 重点    | ・地域諸団体から地区福祉委員会への要望・提案・情報交換（2回/年）   |
| 福祉拠点維持・運営               |       | ・維持管理（共同利用施設4ヶ所・旧ふたば幼稚園）  |
| 情報の受発信事業                | 重点    | ・福祉ニュース「絆～加茂」（年2回）・交流事業の受発信（回覧）<br>・コミュニティHPへ掲載依頼   |
| ボランティア活動事業<br>「ほのぼの会」   |       | ・車椅子体験学習（加茂小学校・川西南中学校）サポート<br>・ハピネス川西（ふれあい喫茶 R5・12・22再開）  |
| 避難行動要支援体制               | 重点    | ・災害時の支援体制づくり及び安否確認。<br>（加茂小コミ・自治会より連携要請があれば支援を行う）   |
| 交流事業<br>「ひろばサロン会：相談会」   | 重点    | ・南花屋敷中央会館・南花屋敷会館・加茂会館・旧ふたば幼稚園で毎月1回開催<br>（★加茂小地区の皆様はこの会場にご参加頂いても構いません）<br>・企画・立案等福祉委員担当・相談会は民生委員・児童委員担当              |
| 交流事業「カフェ：憩い」            | 重点    | ・加茂会館毎週水曜日（但し第4週休み）開催時間（14：00～16：00）<br>・南花屋敷中央会館毎週水曜日（但し第1週休み）<br>開催時間（14：00～16：00）<br>★珈琲・茶菓子（100円）提供。（再開&会場等検討中） |
| 交流事業<br>「手話：花花たんぼぼ」     | 重点    | ・聴覚障がい者の方々と手話を通じて地域情報等交換会<br>（加茂ふれあい会館コミ室、毎月第1週土曜日 開催時間10：00～12：00）   |
| 交流事業<br>「一人暮らし高齢者：百寿会」  |       | ・一人暮らし高齢者（65歳以上）会費制（月200円） 担当民生委員・児童委員  |
| 交流事業<br>「園児：高齢者の集い」     |       | ・加茂こども園児&（一人暮らし）高齢者の集い  |
| 交流事業<br>「障がい者団体：加茂フラワ会」 |       | ・グラウンドゴルフ大会&情報交換  |
| 交流事業<br>「市民体育祭」         |       | ・加茂コミ主催「加茂コムスポーツデー」開催時、福祉席の維持管理   |
| 交流事業「世代間交流」             |       | ・夏休み工作づくり   |
| 交流事業<br>「脳トレ麻雀会」        | 新規    | ・加茂交流会館（加茂ふれあい会館敷地内）<br>・開催日 第1・3週目水・土曜日及び第2・4週目火曜日<br>・開催時間 13：00～16：45<br>・参加料1回につき100円                           |
| 交流事業<br>「囲碁・将棋会」        | 新規    | ・南花屋敷中央会館（毎月第2週目木曜日14：00～16：00）<br>・加茂会館（毎月第4週目木曜日14：00～16：00）  |
| 認知症啓発支援事業               |       | ・キャラバンメイト会主催<br>「認知症サポーター養成講座・SOS行方不明模擬訓練」支援  |
| 介護・認知症予防支援事業            |       | ・川西南地域包括支援センター事業支援「いきいき元気倶楽部各会館サポート」  |
| 福祉委員研修会                 | 重点    | ・福祉委員全体研修・新福祉委員研修・施設研修  |





## 川西小地区福祉委員会 第5次地区福祉計画

### 地区の特徴

川西小地区にはJR川西池田駅や阪急川西能勢口駅があり利便性も良く、又川西市の玄関口として商業施設も多く人々が行き交い賑わいを見せています。しかし最近ワンルームマンションが多く建設されたことで地域としては人口も増え若返っているが、人と人との関係が希薄になっています。地形的には猪名川に隣接し、一部の土地の低い地域においては河川の氾濫の恐れもあり、コミュニティで作成した防災マップの活用で災害から身を守る教育や訓練が必要とされています。

### 川西小地区の人口、世帯数、高齢化率

人口などのデータは  
こちら→



かわナビは  
こちら→



### 福祉目標

## 笑顔でつながり支えあう地域づくり

### 地区の重点事業

重点  
1

誰もが活躍出来る居場所づくり

重点  
2

地域活動の担い手確保

重点  
3

小地域での見守り支援

重点  
4

地域資源の活用、関係団体との連携・協働

### 地区別ワークショップでの 意見

- ◇もっと身近な所でサロンの開催
- ◇活動拠点の確保
- ◇日頃からの声掛け
- ◇安全安心な子どもの集まる場所

### 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- ◇災害から身を守る取り組みの継続
- ◇地域福祉活動における理解と協力
- ◇福祉ネットワーク会議及び諸会議の活用
- ◇福祉だよりの発行

## ふれあいサロン

65歳以上の地域住民を対象とした交流の場  
川西小地区内①～⑩の会場で年4回開催  
体を動かしたり、ビンゴなどのゲームを  
しながら楽しめます。  
参加・問合せは市社協（☎072-759-5200）へ

①天王宮会館  
(住所：小戸3-19)



②小戸公民館  
(住所：小戸3-13-3)



③鶴寿会館  
(住所：小戸2-13-12)



④浄福寺  
(住所：栄根2-23-14)



⑤栄根会館  
(住所：栄根1-8-18)



⑥栄南集会所  
(住所：栄町27-9)



⑦寺畑会館  
(住所：寺畑1-9)



⑧下加茂会館  
(住所：下加茂1-22-29)



⑨県住コミュニティプラザ  
(住所：下加茂2 団地内)



⑩やなぎホール  
(住所：栄根1-1-1)



## ふれあい喫茶「なごみ」

地域の誰もが参加できるカフェ  
毎月第1月曜日 11時～14時  
小花会館（住所：小花2-22-5）



## わくわく子どもフェスティバル

年少～小学生を対象に、年1回夏休みにやなぎホールに  
て開催。ゲームやものづくりなどが楽しめます。



## 障がい者（児）ふれあい交流

スポーツ交流会、カラオケ交流会の年2回開催

①スポーツ交流会  
(やなぎホール)

②カラオケ交流会



## 手話交流会

手話を学びながら当事者の方と一緒に住民が交  
流できる居場所

毎月第4土曜日 10時～11時50分

川西市市民活動センター

(住所：小花1-8-1

パレットかわにし内)

年1回は外へ出て交流！



## 川西小地区内の地域包括支援センター（高齢者保健福祉サービスの総合相談窓口）

・川西地域包括支援センター  
(住所：中央町15-27) (☎：072-755-1041)  
対象地区：小戸、小花、寺畑、栄根1丁目、  
栄根2丁目1番地から6番地

・川西南地域包括支援センター  
(住所：加茂3-13-26) (☎：072-755-3315)  
対象地区：栄根2丁目（1番から6番除く）、  
下加茂

重点  
1

## 誰もが活躍出来る居場所づくり



### 目的

身近な居場所の充実を通して世代を超えての交流に取り組みます。

### 具体的取り組み

- ☞ 高齢者・若い世代・子どもの三世代交流が出来るイベント開催に取り組みます。
- ☞ 子どもの放課後居場所づくりを学校以外で開催出来るよう検討していきます。
- ☞ 昔遊びを伝承していくために開催について検討していきます。



重点  
2

## 地域活動の担い手確保

### 目的

誰もが気軽にボランティアとして参加出来る事業を目指します。

### 具体的取り組み

- ☞ 事業にお手伝い頂ける人の（スポット参加）募集に取り組みます。
- ☞ 事業開催を土曜日・日曜日に着目して取り組みます。



重点  
3

## 小地域での見守り支援



### 目的

誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるためにお互いに助け合って支えあう地域を目指します。

### 具体的取り組み

- ☞ ふれあいサロンに参加出来なくなった、又参加出来ない人の見守り支援機能を発揮します。
- ☞ 民生委員・児童委員や地域包括支援センターと連携して見守りを支援します。

重点  
4

## 地域資源の活用、関係団体との連携・協働

### 目的

地域の関係団体と連携を密にし交流出来る地域を目指します。

### 具体的取り組み

- ☞ コミュニティ協議会の運営委員会などの参画を通して各部会との連携を図ります。
- ☞ 地域で使われていない場所・居場所などを活用出来るよう検討します。
- ☞ 福祉委員会独自の広報紙を作成する事により、非自治会員にも周知出来るよう取り組みます。

## 川西小地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

### 日 程

- ▷ 令和5年 7月 5日 (水)
- ▷ 令和5年 9月 6日 (水) ほか8回

### 内 容

- 地区別ワークショップ 開催
- 地区福祉委員会役員会にて検討

### 策定委員

岡崎 由美子、今北 延行、長野 玲子、武田 元二郎、速井 重幸  
矢羽田 徳子、宮崎 悦子、石田 英男

## 川西小地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名                  | 区分    | 内 容                                     |
|----------------------|-------|---|
|                      | 新規・重点 | 内容、回数、定期開催の場合は曜日                        |
| 福祉ネットワーク会議           |       | 福祉ネットワーク会議メンバーによる各団体の状況や、福祉に関する協議       |
| 地域相談事業の実施            |       | ふれあいサロン時に相談窓口の併設                        |
| ふれあいサロンの開催<br>(10地区) | 重点    | 65才以上対象 (年4回)                           |
| 地区福祉委員研修             |       | 福祉委員対象の講座や市外研修                          |
| 認知症予防・啓発支援事業         |       | 認知症行方不明者模擬訓練の実施                         |
| 障がい者(児)ふれあい広場        |       | スポーツ交流やカラオケ交流 (年2回)                     |
| 手話交流会                |       | 当事者を交えて手話を広めるため (毎月第4土曜)                |
| 子育て支援活動              |       | 子育て広場ルン・ルン!!支援 (毎月第2・4木曜)               |
| ふれあい喫茶               |       | ふれあい喫茶「なごみ」校区内にお住まいの方対象<br>(毎月第1月曜)     |
| わくわく子どもフェスティバル       | 重点    | 4・5才児・小学生対象 いろいろなゲームをして遊ぶ               |
| 福祉講座                 | 重点    | 校区内にお住いの方に福祉に関する学習をします                  |
| 地区ボランティア育成活動支援       |       | 車イス体験学習などボランティア活動                       |
| 広報紙発行                |       | コミュニティが発行している「コムサット」を通じて福祉委員会活動の発信をしている |



# 桜小地区福祉委員会 第5次地区福祉計画

## 地区の特徴

桜小地区には、市役所やスーパー、病院、鉄道駅があり、市内で最も人の動きが活発な地域です。人口は僅かに減少していますが、世帯数では増加傾向が続いており、その結果1世帯当たりの世帯人員は平均で1.86人にまで低下しています。自治会は17ありますが、加入率は年々減少し20%前半にまで低下しており活動も低調な様子です。地域特性としては、「暮らすには便利である反面、地域社会とは孤立しがちな地域である」とも言えます。コミュニティ協議会は、平成27年に市内で最も遅く組織化されましたが、現在活発に活動を行っています。福祉委員会は、これまで居場所づくりを通じて孤立予防や介護予防の活動を中心に、また助け合いのボランティア活動や町・丁目単位の小地域支え合いネット活動にも力を入れて取り組んでいます。

## 桜小地区の人口、世帯数、高齢化率

人口などのデータは  
コチラ→



かわナビは  
コチラ→



## 福祉目標

# つながって 楽しく 元気で 支え合うまち 桜小地区

## 地区の重点事業

重点  
1

社会的孤立をへらし健康寿命を延ばす取り組み

重点  
2

子育て世帯を地域で支える取り組み

重点  
3

小地域支え合いネット活動の充実

重点  
4

持続可能な福祉委員会づくり

重点  
5

地域の互助（支え合い）活動の推進

## 地区別ワークショップでの意見

- ◇若い人の地域参加について
  - ・参加を促すSNSの活用による情報発信
  - ・若い人が参加しやすいイベント、参加の工夫
- ◇もしもの時の安心の地域づくり
  - ・近隣関係の強化と声掛け、助け合い
  - ・一人暮らし・認知症の人が安心の地域づくり
- ◇共に生きる地域づくり
  - ・障がいを個性として捉え、共に学ぶ場が必要
- ◇子どもの居場所・子育て世帯への地域支援
  - ・子育てしやすい環境の整備

## 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- ◇福祉委員会の維持継続のための後継者育成
- ◇小地域での支え合いネット活動の充実
- ◇子ども、子育て世帯をめぐる問題への対応
- ◇福祉委員会及び地域の互助活動の推進
- ◇災害時の対応も視野に入れた活動の方向性の検討が必要
- ◇地域の色々な団体、機関との協働の必要性

# 福 祉 目 標

## つながって 楽しく元気で 支え合うまち 桜小地区

### 今、つながることの大切さ

人と人とのつながりが薄れて社会的に孤立しがちな時代。対面で人と会話し、ともに何かをすることで心と身体も元気になります。  
◎カフェや歌の会、折り紙の会など、子どもから高齢者まで多様な人が集い、つながる場を設けています。



小地域のカフェの様子

### 活動は楽しく！

地域活動が“楽しい”と、元気が出て長続きします。事業に参加する人も楽しく元気になります。スタッフも参加者も“楽しく”をモットーに活動中です！



参加者もスタッフも“楽しい”が一番！

### 出来るだけ長く、元気で今の暮らしを続けたい！

歳をとるにつれ身体も気持ちも衰えてきます。認知症も他人事ではありません。社会参加し、人と交流し身体を動かし適度に頭を使うことで健康寿命を延ばすことができます。元気になる色々な事業を行っています。



フォークダンスを楽しむ



ボランティアで通院介助

### 改めて“地域で支え合うこと（互近助）”の必要性

高齢者に限らず子育て世代の人も、何らかの障がいを持つ人も、暮らしに困った時に公的サービスや親族の支援だけでは立ち行かないことが出てきます。今何かでつながっている仲間同士や近所の人同士で気にかけて支え合うことが重要になっています。校区全体でのボランティア活動と、町や丁目ごとの小さな地域でも支え合い（互助）活動を推進します。



## 目的

人と人とのつながりが薄れ高齢化が進む中、孤立や認知症の問題は決して他人事ではありません。誰もができるだけ元気で住み慣れたところで暮らし続けられるよう、多様な人がカフェやサロン、趣味の会など色々なつながる場を設け、楽しく生き生きと暮らすことのできる人を増やします。

## 具体的取り組み

- (1) カフェやサロンなど多様な居場所づくりを展開
  - ①カフェさくらや各小地域でのカフェ、サロンなどを継続実施
  - ②子どもから高齢者まで、また障がいを持つ人など、どなたが参加してもよい居場所づくり
- (2) 折り紙や編み物など趣味活動を通して生きがいと仲間づくり
  - ①なかよしクラブの活動を継続
- (3) フォークダンスや歌の会、いきいき百歳体操など健康づくりの取り組み
  - ①体を動かすこと、声を出して歌うことで筋肉と内臓も強化、仲間と楽しく健康づくり

## 目的

子育て世帯が地域とつながっていれば、急に困った時にも信頼できる人に支援を求めたり、子どもたちの安全を地域で見守る環境があれば安心できます。自治会やコミュニティ協議会、福祉委員会などの行事に参加することで、住んでいる地域が子どもたちにとってかけがえのない“ふるさと”になります。そうした“子どもたちにやさしい地域づくり”が少しでもできるように努めます。

## 具体的取り組み

- (1) 子育て世帯が地域で孤立しないためのつながりづくり支援
  - ①転入時における地域とのつながり支援と地域情報の提供
  - ②子育て世帯の懇談・交流の場づくり
  - ③親子で参加できる地域イベントの開催
- (2) 子どもの安全と育ちを地域で支援する取り組み
  - ①小学生の登下校時の「学校安全協力員活動」の継続
  - ②「こどもをまもる110番のおうち」の拡充
  - ③地域の子育てサポーター（仮称）“地域のばあちゃん・じいちゃん活動”の取り組み
  - ④小学校や保育園、民生委員・児童委員活動などと連携したイベントへの協力



## 目的

誰もがいつかは歳を取り、心身に不自由をきたします。また、若い世代にも何らかの支援が必要となることがあります。そうしたことを“自分ごと”、“お互い様”として受け止めお互いに気かけ合い、支え合う地域づくりが必要とされています。そのため、より身近な小地域（中央町・日高町・栄町・市営団地、花屋敷1丁目、花屋敷2丁目、花屋敷山手町・かすみ自治会）で誰もが集える居場所づくりや支え合い活動の取り組みを充実させます。

## 具体的取り組み

- (1) 支え合いネット会議の開催
  - ①福祉委員、ボランティア、民生委員・児童委員、自治会、地域団体などとの話し合い
- (2) カフェやサロンなどの居場所づくりの継続
  - ①子どもから高齢者まで、外国人を含むどなたでも参加できる場づくり
- (3) 一緒に活動する仲間の積極的な発掘
  - ①わが町、地域のために協力していただける人の発掘及びスポット参加の呼びかけ
- (4) 一人暮らし高齢者や介護家族、障がいを持つ人など当事者の集いの開催
- (5) 見守り・支え合い活動の展開
  - ①一人暮らしの高齢者、災害時安否確認希望者、ハンディのある方々への平時のつながりづくり
  - ②ゴミ出しや買い物など、支援が必要な世帯への支え合い活動の展開

## 目的

現在の福祉委員会は多くが高齢者で構成されており、50代、60代の次代を担う委員が少なく5年先～10年先の組織の維持が難しい状況にあります。組織を維持発展させていくために元気な高齢者のもとより、若い世代の関心と参加を少しでも促すことが必要です。そのための情報発信や事業の工夫で参加者を増やし、活動人材を発掘していきます。また、活動に必要な財源と活動拠点の確保に努めます。

## 具体的取り組み

- (1) 活動人材の発掘、育成
  - ①小地域支え合いネットの活動を通して新たな人材を発掘
  - ②若い世代から高齢者まで伝わる情報の受発信・・・従来の紙媒体とSNSの活用  
・SNSの活用について、検討委員会を設けて具体的な方策を立てる
  - ③必要に応じて、市民活動センターの「地域人材マッチング」の活用
- (2) 若い世代も含めた多様な住民の参加が可能な事業・活動の実施
  - ①子育て世代など若い世代が関心を寄せ参加しやすい事業の実施
  - ②平日働く人が参加しやすい開催曜日や時間の工夫
- (3) 活動の財源確保と活動拠点の確保
  - ①地域活動支援助成金の積極的な活用による財源確保
  - ②各小地域で通常活動に利用可能な活動拠点の確保  
・市総合センターへの登録、利用及び自治会館などの低利用料での複数回利用の依頼



目的

出来るだけ住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、制度（公助・共助）や家族（自助）だけに頼るのではなく、今つながっている人同士の互助（支え合い）が改めて重要となります。福祉委員会として、4層の互助活動を推進します。

具体的取り組み

- (1) 福祉委員会としての互助活動の推進 ～4層の互助活動の推進～
- ① 1層：ボランティアさくらの取り組み（校区全域）
  - ② 2層：小地域支え合いネットにおける互助活動（町・丁目区域）
  - ③ 3層：役員相互の困った時の互助活動
  - ④ 4層：福祉委員会事業（活動）に参加する仲間同士の互助活動（参加住民同士）
- (2) 近隣同士、友人同士、および自治会など団体会員同士による互助活動の提唱
- ① 「ふくしだより」での提唱及び各種会合などでの提唱

桜小地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

| 内 容             | 日 程                 |
|-----------------|---------------------|
| 地区別ワークショップ 開催   | ▶ 令和5年6月27日（火）      |
| 地区福祉計画策定検討会議 開催 | ▶ 令和5年7月24日（月）ほか計5回 |

## 桜小地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名                  | 区分<br>新規・重点 | 内 容  |
|----------------------|-------------|--|
|                      |             | 内容、回数、定期開催の場合は曜日   |
| フォークダンス              |             | 毎月第2水曜日。講師の指導でフォークダンスを楽しむ会   |
| カフェさくら               |             | 毎月第2木曜日。コーヒー、菓子でおしゃべり。幼児から高齢者まで、障がいを持つ人も誰でもが気軽に参加できる居場所  |
| 童謡・唱歌をみんなで歌おう会       |             | 毎月第2金曜日。パソコンからスクリーンにプロジェクターで映像を写し、みんなで童謡や唱歌を歌う会  |
| ふれあいサロン              |             | 毎月第3水曜日。カラオケを楽しむ   |
| なかよしクラブ<br>編み物の会     |             | 毎月第2火曜日。各自毛糸・編み物針持参。講師の指導のもとに各自好きなものを編む  |
| なかよしクラブ<br>折り紙の会     |             | 毎月第3水曜日。指導は地域の人。お雛さんや七夕飾りなど季節に応じた作品を折り楽しむ  |
| なかよしクラブ<br>歌の会       |             | 毎月第4金曜日。プロの先生の歌唱指導、演奏で懐かしい歌や季節に応じた歌を合唱   |
| 親子で参加できる<br>地域イベント   | 新規          | 年数回開催。小地域でハイキングやもちつき大会などを開催  |
| 小地域でのカフェなど<br>居場所づくり | 重点          | ◇中央町・日高町：「おもろいカフェ」＝毎月第3金曜日<br>◇栄町・市営団地：「栄町キッサ」＝毎月第2月曜日<br>◇花屋敷1丁目：「さくらサロン」＝毎月第1木曜日<br>◇花屋敷2丁目：花やしきカフェ＝毎月第4木曜日<br>◇花屋敷山手町・かすみ自治会：「カフェはなやま」<br>＝毎月第3土曜日（R6年4月より未定） |
| 地域交流室さくらの<br>管理運営    |             | 市から管理運営を受託し、福祉委員会の活動拠点として使用するとともに登録団体に貸し出し、年間の管理運営を行う  |
| みんなの家喜六の<br>管理運営     |             | 船川氏より管理運営を受託し、地域の福祉活動及び近隣自治会に会議や活動の場として貸し出す  |
| いきいき百歳体操             |             | 毎週火曜日。スクリーンに映る体操モデルの動きに合わせて手足に重りの負荷をかけて反復体操で筋力を高める   |
| 一人暮らしの食事会            |             | 毎月第3金曜日。みんなの家喜六を会場に手作りの食事とおしゃべりを楽しむ  |
| ふくし講座                |             | 年3回程度地域の防災、認知症への理解など適時のテーマを決めて開催し、広く住民への学びの機会とする   |
| パソコン指導               |             | 毎月第2月曜日。パソコン・スマホ使用について、分からない所を個別指導   |

|                    |    |  |
|--------------------|----|--|
| 広報活動               | 重点 | 「ふくしだより」年2回（秋と春号）発行。行事ポスターの作成、掲示。グループラインやSNSの活用を通して広い世代に情報発信   |
| 小地域での見守り・支え合い活動の推進 | 重点 | 町・丁目単位の小さなエリア単位で、必要に応じて気になる人への見守りやゴミ出し、庭の草取りなど、ちょっとした困りごとへの支え合い活動を行う   |
| 「ボランティアさくら」による活動   |    | 校区全域から一人暮らし高齢者や障がいを持つ人などからの依頼により、買い物代行や病院への付き添い、話し相手などを行う。1回、1時間以内、利用料@300円の有償制  |
| 福祉委員会・地域の互助活動の推進   | 重点 | 既存の役員会や部会、自主活動グループのメンバー同士の困った時の声掛け・支え合い活動を推進する。併せて地域団体や住民への互助活動の提唱   |
| 学校安全協力員の活動         |    | 学校の授業がある平日の毎日、桜が丘小学生の主に登校時の見守り活動。「こどもをまもる110番のおうち」の増設に協力   |
| 福祉ネットワーク会議         |    | 校区内にある福祉、医療、NPO、自治会、小学校・中学校などの機関、団体の参加で地域の福祉活動の情報共有と必要とされる地域課題の協働を目指す  |
| 小学校児童・保育園園児との交流    |    | 小学校と校区内にある保育園の子どもたちと「昔あそび」などで交流  |
| 福祉活動人材の発掘・育成       | 重点 | 当会主催の小地域支え合いネットの活動を通じて、また事業参加者や「ふくしだより」・SNSによる情報発信を通じて若い世代の参加と理解を促し将来的な福祉活動人材の発掘、育成につなげる   |
| 役員会                |    | 毎月第1金曜日の午前。協議事項、報告事項を話し合う  |
| 部会の開催              |    | ◇総務部会：毎月役員会の前の火曜日<br>◇ふくし部会：第1金曜日の午後<br>◇広報部会：年7回程度<br>◇交流いきいき健康部会：随時<br>◇ボランティア部会：毎月第4水曜日<br>◇なかよしクラブ：毎月第3木曜日<br>◇みんなの家喜六管理運営委員会＝隔月開催 |

第5次 桜小地区福祉計画策定委員名簿

|    | 氏名     | 所属・役職                              |
|----|--------|------------------------------------|
| 1  | 濱田 真帆  | 川西市社会福祉協議会：コミュニティワーカー・生活支援コーディネーター |
| 2  | 関原 由加利 | 川西地域包括支援センター 社会福祉士                 |
| 3  | 山戸 正啓  | 市立桜が丘小学校 校長                        |
| 4  | 津田 加代子 | 桜小地区コミュニティ協議会 企画局長<br>小地区福祉委員会 監事  |
| 5  | 砺波 義雄  | 新栄自治会 会長<br>桜小地区福祉委員会 理事           |
| 6  | 中田 鞆子  | 川西市中央民児協 会長                        |
| 7  | 志水 裕子  | 民生委員・主任児童委員                        |
| 8  | 増田 敏子  | 桜小地区キャラバンメイト 代表<br>桜小地区福祉委員会 副委員長  |
| 9  | 大西 敏晴  | かわにし防災士の会 副会長<br>桜小地区福祉委員会 理事      |
| 10 | 岡本 あゆみ | 桜が丘小学校PTA まとめ役                     |
| 11 | 武智 瑛子  | 桜が丘小学校PTA まとめ役                     |
| 12 | 木村 礼子  | 花屋敷ばあばのおうち 主催                      |
| 13 | 藏原 亜紀  | NPO法人 育ちあいサポート ブーケ 代表理事            |
| 14 | 浜上 章   | 桜小地区福祉委員会 委員長                      |
| 15 | 伊勢 貞夫  | 桜小地区福祉委員会 副委員長                     |
| 16 | 上山 幸子  | 桜小地区福祉委員会 副委員長                     |
| 17 | 竹村 治美  | 桜小地区福祉委員会 副委員長                     |
| 18 | 徳田 裕平  | 桜小地区福祉委員会 書記                       |
| 19 | 深町 延子  | 桜小地区福祉委員会 理事（当事者家族）                |
| 20 | 若井 京子  | 桜小地区福祉委員会 理事（当事者）                  |
| 21 | 湯川 洋子  | 桜小地区福祉委員会 理事（元介護専門職）               |

# 北小地区福祉委員会 第5次地区福祉計画

## 地区の特徴

北小地区は、市中心部に位置し、南北に走る能勢電鉄の駅舎の内、絹延橋、滝山、鶯の森の3駅舎があり、また、公共施設には、市警察署・消防署・総合医療センター・キセラ川西プラザ（川西市社会福祉協議会）、キセラ川西せせらぎ公園などが点在し、さらに、商業施設のオアシスタウン、ホームセンター等が開業し、公共及び商業施設面で利便性の高い地区です。

北小地区福祉委員会では、福祉目標である「共に助け合う心豊かな地域づくり」を目指して、福祉委員（民生委員・児童委員）と川西市社会福祉協議会、川西北小学校、川北コミュニティ協議会との連携を図りながら、地域住民の見守りと、住民同士の支え合い、つながりを地域づくりの基本に据え、福祉活動に取り組んでいきます。

## 北小地区の人口、世帯数、高齢化率

## 福祉目標

人口などのデータは  
コチラ→



かわナビは  
コチラ→



# 「共に助け合う心豊かな地域づくり」

## 地区の重点事業

重点  
1

子どもが企画する地域活動・イベントの開催

重点  
2

福祉活動人材の確保・育成

重点  
3

市社協・地域包括支援センターと連携した地域づくりの推進

重点  
4

コミュニティ協議会・自治会との連携強化

## 地区別ワークショップでの意見

- ◇誰もが集える交流の場(居場所)づくり
- ◇子どものボランティア活動への企画と参画
- ◇自治会加入率促進、自治会との連携強化
- ◇地域福祉活動者の人材確保と育成の促進
- ◇関係団体との連携による地域環境づくり

## 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- ◇社協や関係団体との連携による情報の受発信
- ◇コロナ禍で休止した「ぬくもり隊」の再編成・再活動の推進
- ◇災害時要支援者・行方不明者SOS支援体制の確立
- ◇福祉委員（民生委員・児童委員）の人材確保策

現在の地区の取り組み

- ものわすれカフェ
  - ふれあい昼食会・巡回昼食会
  - もちつき大会
  - 歩こう会
  - 長寿祭（ふれあい昼食会）
  - コミュニティ協議会主催行事への協力
  - 熟年料理教室
  - よろず相談窓口
  - 子育て広場「ほほえみ」「放課後クラブ」
  - いきいき元気倶楽部
  - 福祉委員会広報誌「いずみ ニュース」発行
  - ふれあいサロン・地区巡回昼食会
- など多数

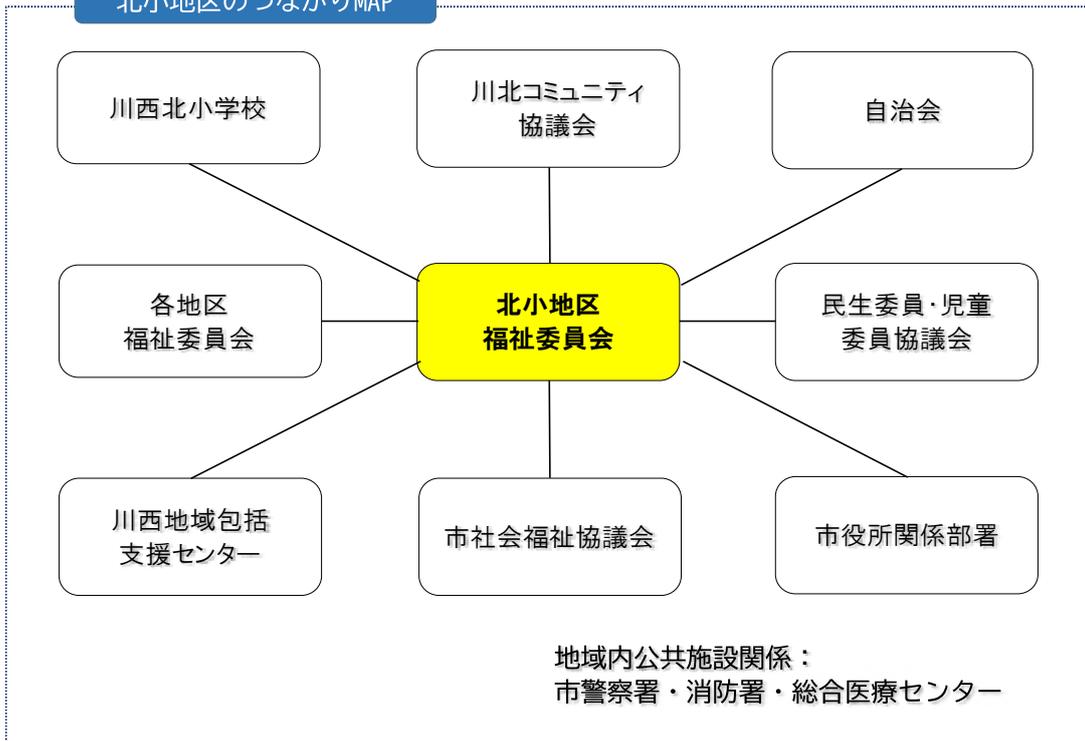


長寿祭（ふれあい昼食会）



もちつき大会

北小地区のつながりMAP



北小地区の自治会は以下の自治会です。

- 美園町
- 丸の内町
- 萩原1丁目
- 川西松が丘
- 絹延町
- 滝山
- 火打
- 松が丘団地
- 出在家町
- 鶯の森
- 霞ヶ丘





## 目的

地域の将来を担う子ども達が自ら考えて行動し、地域活動を通じて、地域住民との交流を図っていきます。

## 具体的取り組み

- 川西北小学校の高学年児童を中心に「ぬくもり隊」を編成し、地域内の清掃活動を継続的に実施し、地域住民の方々にも参加をしていただき、活動の輪を広げていきます。
- コミュニティ協議会与連携し、「春の川北子ども祭」のイベントを子ども達が企画の段階から参加し、子ども達と地域住民との交流（つながり）を進めていきます。
- 将来的にはこれらの活動を通じて、子ども達と地域の大人の皆さんとの交流を進め、地域の絆を高めていきます。

## 目的

地域福祉活動（ボランティア活動）に興味を持って、参加できる人材の確保と育成に取り組んでいきます。

## 具体的取り組み

- 福祉委員の高齢化が進んでおり、福祉活動、広報等を通じて、地域住民の若い世代の力と柔軟な発想で、福祉活動を活性化すべく、参加活動できる人材を発掘・確保、育成して、5年先、10年先を見据えて福祉活動を推進していきます。
- 行事、広報等を通じて、地域住民に地域福祉活動を広く周知してもらい、参加を促していきます。



目的

地区福祉委員会と市社協・地域包括支援センターと連携し、地域の課題解決に取り組み、地域の絆とまちづくりを推進していきます。

具体的取り組み

- 川西北小学校、コミュニティプラザを活動拠点として、福祉活動「ふれあい昼食会（長寿祭）」、子育て広場「ほほえみ・放課後クラブ」、「ものわすれカフェ」等への地域住民の参加促進と活動の活性化に取り組んでいきます。
- 市社協、川西地域包括支援センターが実施している各種案内行事の地域住民への発信と積極的参加を促していきます。
- 市社協が実施している募金活動について、地域活動等を通じて、地域住民の協力、支援の輪を広げていきます。

目的

地域福祉活動を推し進めるには、コミュニティ協議会と地区内各自治会との連携は必須であり、福祉活動への理解と協力を得るべく広報・情報発信に取り組んでいきます。

具体的取り組み

- 地区の活動拠点であるコミュニティプラザ、川西北小学校、各自治会館を起点に福祉委員会、コミュニティ協議会、各自治会の役員と情報の受発信を密に行い、地域の課題解決に取り組んでいきます。
- 福祉委員会の広報誌を通じて、自治会員、非自治会員の地域住民に対し、地域福祉活動への理解と参加を促していきます。
- 各自治会における非自治会員の自治会加入者を促進するため、子ども達を中心に家族、高齢者の方々に福祉行事、コミュニティ行事等への参加を促していきます。
- 福祉委員（民生委員・児童委員）を通じ、各自治会の高齢者の方々に、暑中見舞いのはがきを発送し、支え合い、見守り支援活動を継続して取り組んでいきます。

北小地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

日 程

内 容

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 令和5年11月12日（日）ほか3回</li> <li>▶ 令和5年11月 4日（土）ほか2回</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>地区別ワークショップ 開催</li> <li>福祉役員会 福祉計画検討会議 開催</li> </ul> |
|--|--|

## 北小地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名                         | 区分<br>新規・重点 | 内 容<br>内容、回数、定期開催の場合は曜日        |
|-----------------------------|-------------|--------------------------------|
| 相談窓口事業                      |             | よろず相談窓口 毎月第1・3水曜日 午前・午後        |
| キャラバンメイト                    | 重点          | ものわすれカフェ 毎月第2水曜日               |
| ふれあいまちづくり事業                 |             | いきいき元気倶楽部 川西地域包括支援センターと共催      |
| ふれあいまちづくり事業                 | 重点          | 長寿祭（ふれあい昼食会）（1回/年） 11月         |
| ふれあいまちづくり事業                 | 重点          | 各地区巡回 ふれあいサロン・昼食会 配食活動         |
| ふれあいまちづくり事業                 |             | 秋の川北市民祭（北コミュニティと連携）            |
|                             |             | 市民体育祭（北コミュニティと連携）              |
|                             |             | 盆踊り大会（北コミュニティと連携）              |
|                             | 重点          | 春の川北子ども祭（北コミュニティと連携）           |
| ぬくもり隊                       | 重点          | 地域清掃、イベントの企画・運営を通して地域住民と交流     |
| 広報活動事業                      | 重点          | 広報誌「いずみニュース」発行（6回/年）           |
| 災害時要支援者と行方不明者<br>SOS支援体制の確立 |             | サポート・キャラバンメイトの養成と機能化・支援マップの整備  |
| 福祉事業                        |             | 熟年料理教室（1回/年） 7月                |
| 福祉事業                        |             | もちつき大会（1回/年） 12月               |
| 福祉事業                        |             | 歩こう会（1回/年） 3月                  |
| 子育て広場事業                     | 重点          | 「ほほえみ」 毎月第2・4金曜日               |
|                             | 重点          | 「放課後クラブ」開催                     |
| 車いす貸出事業                     |             | 随時                             |
| 暑中見舞い配送                     | 重点          | おひとり暮らし・高齢者を対象に民生委員・児童委員がはがき郵送 |
| 福祉合同研修会                     |             | 北小地区相談員・コミュニティ役員・ボランティア部会の研修   |
| 北コミュニティ運営委員会                |             | コミ幹事・各自治会長・福祉委員との事案協議及び連携      |
| 北コミュニティ会長会                  | 重点          | コミ役員・各自治会長・福祉委員との事案協議及び連携      |



# 明峰小地区福祉委員会 第5次地区福祉計画

## 地区の特徴

「風光明媚な丘陵地の高台にある**明るい峰**」が明峰小地区の名前の由来です。  
 昭和40年代からこの丘陵地帯に開発された戸建て中心の大規模団地の集積で、概ね開発の次期によって8つの自治会にわかれています。  
 地区内には小学校、中学校、高校があり、また、近隣には宝塚医療大学があります。明峰公民館に加え、7つの自治会館があることも本地区の大きな強みです。高齢化は進んでいるものの、川西能勢口に近いことと比較的交通の便が良いことから若者の転入もあり、年代別人口バランスのとれた地域です。

## 明峰小地区の人口、世帯数、高齢化率推移



人口データは  
コチラ



かわナビは  
コチラ

## 社会構造などの変化

- ◎人口減少社会の進展及び社会保障費の負担増 → あらゆる住民の社会参加による住民同士の助けあい活動の推進
- ◎AIやSNSなどの進化による生活様式の大きな変化 → ICTを活用する機会の拡充
- ◎多発する大規模災害、詐欺などの増加 → 平時のつながりを軸にした住民同士のつながり
- ◎公共交通の維持が困難に → 多様な移動手段の確保と歩いていける距離で課題が解決できる仕組みづくり
- ◎地域活動の担い手不足 → 具体的な人材確保の情報発信と口コミ

## 第4次地区福祉計画からの課題など (2018年度～2023年度)

- ◎安心サポート活動(重点1)
  - ◇民生委員とのさらなる連携
  - ◇個人情報含む見守り体制の整理
- ◎サロンたんぽぽ(重点2)
  - ◇スタッフと参加者との重なりを作っていく
  - ◇サロン担当者間の情報共有
- ◎75歳以上高齢者の集い(重点3)
  - ◇より小地域で誰もが参加できる「青空ふれあい広場」に移行。引き続き推進を
- ◎人材の発掘(重点4)
  - ◇手挙げ、有償でのボランティア活動の推進
  - ◇活動の入り口を広げていく
- ◎その他
  - ◇子育て世代へのサポートの拡充
  - ◇地域課題を多様な主体で考える協議の場の充実
  - ◇障がい者と接する機会を増やすことから始める
  - ◇認知症の方を含む多様な方が集う場づくりを重視

## 地区別ワークショップでの意見

- ◎安心サポート活動(重点1)
  - ◇異変に気付く見守り体制づくり
  - ◇常日頃の会話と見守りの連動
- ◎サロンたんぽぽ(重点2)
  - ◇気軽に立ち寄れる住民同士の後押し
  - ◇学校に行けない子どもの居場所づくり
  - ◇自宅開放の協力
- ◎75歳以上高齢者の集い(重点3)
  - ◇みんなが集える楽しいイベントの企画
  - ◇大人と子どもが触れ合える
  - ◇負担を分け合える協力体制
- ◎人材の発掘(重点4)
  - ◇これをやりたい！をみんなで応援
  - ◇活動者が楽しく活動する
  - ◇いきがいとやりがい
- ◎その他
  - ◇生活を支えあう仕組みづくり
  - ◇障がいを知る機会をつくる
  - ◇子どもを安心して預けられる場所があれば良い

# 福祉目標

## 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり ～つながり・支えあう共生の地域づくり～

### 現在の地区の取り組み

サロンたんぽぽ

地域の子どもスペース  
よつ葉

青空ふれあい広場

ひまわり会

まちの子育てひろば

つながり活動

左上  
青空ふれあい広場  
右上  
サロンたんぽぽ  
右下  
地域の子どもスペース  
よつ葉

### ◎安心サポート活動

安心サポート連絡会

見守り

避難行動要支援  
見守り登録者

見守りが必要と  
思われる住民

安心サポーター

社協  
地域福祉担当

安心サポーター

地域包括  
支援センター

見守り活動

安心サポート連絡会の様子

### ◎たのみ隊(有償) (相談窓口を兼ねる)

### ◎やまびこ会(無償)

ゴミ出し

電球交換

買い物

掃除

庭の手入れ

支えあい活動

たのみ隊 活動の一コマ

### 基礎的活動

福祉委員研修

福祉講座

福祉ネットワーク  
会議  
委員会運営

人材確保

福祉委員研修  
福祉講座

福祉ネットワーク会議

広報紙の発行



重点  
1

「災害時は平時の延長」  
普段からのつながりを大切にする「今どき、向う3軒両隣」の見守り体制づくり



目的

災害時に助け合える地域となるよう、「安心サポート活動」を通して  
平時から「今どき、向う3軒両隣」の住民同士のつながりを深めます。

共通テーマ  
見守り  
つながり

具体的取り組み

○避難行動要支援者登録の推進

一人暮らし高齢者などに限らず、災害時の避難行動に不安のある方に対し、避難行動要支援者登録を勧めていく。

○戸別訪問

上記登録にて「日ごろから民生委員・安心サポート協力員の見守り活動を希望」された住民への見守り活動の実施。

○気になる世帯の早めの把握と対応

住民ならではの気付きに早い段階から専門職と連携して対応できるよう、年2回程度の安心サポート連絡会を実施。

重点  
2

「ひとりぼっちをつくらない」  
サロン“たんぽぽ”などの居心地の良い多様な居場所の発展と創出、社会参加の拡大

目的

サロン活動の機能に改めて着目し、「誰もが」参加できるサロン活動  
にしていきます。

共通テーマ  
見守り  
つながり

具体的取り組み

○居場所の発展と拡充

「歩いていける」居場所の創出、サロンまでの「移動手段の確保」などを検討し、出来ることから実施していきます。

○サロン担当者間の連絡会実施

多様なサロン活動の担当者で意見交換を行うとともに、サロン活動の機能と目的などを共有します。

○スタッフと参加者の重なりを意識した運営

参加者にも時には役割を担ってもらうなど、スタッフと参加者の重なりを意識して運営します。(スタッフが助けられ上手に！)

○サロン活動や青空ふれあい広場などを通じた住民理解の促進

例えば、認知症の方の参加を通して実際の生活や対応を学ぶなど、当事者との交流から住民理解を深めていきます。

○参加しやすい居場所へ

「一緒に行きましょう！」などと住民に声をかけ合えるような、初めての方でも入りやすい雰囲気づくりを行います。

重点  
3

「まずは住民同士で助けあい」  
出来ることを交換できる住民同士の支えあい活動の推進



目的

あらゆる地域住民が活躍出来る生活支援サポートの仕組みを充実させます。

具体的取り組み

○助けあい活動への支援体制の継続

「たのみ隊(有償)」、「やまびこ会(無償)」の活動充実のため、様々な支援を行います。

- ・活動財源の支援
- ・福祉委員会だよりによる広報の支援(活動紹介、人材募集など)

○専門職や事業所、企業などと連携した生活支援体制の整備

あらゆる主体との連携のもと、生活上の困りごとの解決を進めます(例:移動販売など)。

共通テーマ  
見守り  
支えあい

重点  
4

「知る・学ぶ・協議する・手をつなぐ」  
活動を進める基盤の整備

目的

活動を推進する基盤を整え、多様な住民が参加しやすい柔軟な運営を行います。

具体的取り組み

○定例会議の実施

総会、役員会、4役会などを開催し、丁寧な組織運営を行います。

○協議の場の充実

福祉ネットワーク会議など、多様な主体が集まって協議する場を広げます。

○広報

定期的に活動を周知するとともに、人材や財源の確保に努めます。

○福祉教育の実施

福祉委員研修、福祉講座、視察研修などの福祉教育を実施します。

○地区福祉計画の進行管理

定期的に第5次地区福祉計画の進捗状況を確認するなど、適切な進行管理を行います。

○地域福祉担当をはじめとする社協職員との協働

地域福祉担当などとの協働関係を大切に事業を推進していきます。

共通テーマ  
基盤活動  
福祉教育

明峰小地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

| 日 程 | 内 容 |
|-----|-----|
|-----|-----|

- ▷ 令和5年7月4日(火) 地区別ワークショップ 開催
- ▷ 令和6年2月6日(火) 福祉ネットワーク会議 開催

※その他地区福祉委員会役員会及び4役会などで協議

## 明峰小地区福祉委員会事業一覧表（関連団体活動含む）

| テーマ  | 事業名                  | 区分   | 計画期間中の目標   | 地域福祉推進計画との関連                         |
|------|----------------------|------|--|--------------------------------------|
|      |                      | 新規重点 |  |                                      |
| 見守り  | 安心サポート               | 重点   | 「今どき向う3軒両隣」を合言葉に住民誰もが見守り活動をしている明峰に!                | 1-1①<br>1-2①                         |
|      | 行方不明者SOS「明峰地区ネットワーク」 |      | 明峰行方不明者SOS「地域ネットワーク」実例の積み重ねにより、成果を上げている。(キャラバンメイト) | 2-2①<br>3-3②                         |
| つながり | サロンたんぼぼ              | 重点   | "誰でも参加できる"更なる仕組みづくりが進んでいる。                         | 1-1②<br>1-2②<br>2-2②                 |
|      | 青空ふれあい広場             | 重点   | コンセプト「さまざまな人が公園に集まり、ふれあえば楽しくなる」の実践。                |                                      |
|      | 子どもの地域スペースよつ葉        | 新規   | 同様な居場所が鷺台以外の地域にも広がっている。                            |                                      |
|      | まちの子育てひろば「いないいないばあ」  |      | 子育て環境変化によりニーズが減少、見直し検討。                            |                                      |
|      | ひまわり会                |      | 会員確保により、継続している。                                    |                                      |
|      | 絵本ミュージアム「あそぼう家」      |      | "あらゆる人の交流の場"となるように支援。                              |                                      |
|      | 各自治会による多世代の住民ふれあい交流  |      | 各自治会が行う"住民ふれあい交流"への資金支援。                           |                                      |
|      | 認知症カフェ               | 新規   | 「いきいきカフェ」が立ち上がり横展開ができている。(キャラバンメイト)                |                                      |
| 支えあい | たのみ隊（兼相談窓口）          | 重点   | 住民同士の助け合い活動として、地域になくてはならない存在に!                     | 1-1①<br>1-2①                         |
|      | やまびこ会                |      | 無償のボランティア活動への支援。                                   |                                      |
| 基盤活動 | 総会、役員会、4役会           |      | 総会:毎年5月、役員会:毎月第1火曜日、4役会:毎月第2火曜日・第4月曜日              | 1-1①<br>1-2①<br>1-3①                 |
|      | 福祉ネットワーク会議           | 重点   | 年2回開催、参加者の幅を広げより多く多様な意見を取り入れる。                     | 2-1①<br>2-3①<br>2-3②<br>2-3③<br>2-4① |
|      | 広報活動                 |      | 「福祉委員会だより」2回/年発行、コミュニティホームページの活用。                  | 3-1②<br>3-1③<br>3-2①<br>3-3②         |
|      | 人材確保                 | 重点   | "この指とまれ"方式による人材発掘。                                 |                                      |
|      | 財源確保                 |      | 社協の地域組織であることをPRし、社協会員の拡大。                          |                                      |
|      | 計画策定と評価              |      | 毎年PDCAサイクルを実行。                                     |                                      |
|      | ICTを活用した取り組み         | 新規   | 福祉委員は全員が活用できるレベルに!                                 |                                      |
| 福祉教育 | 福祉委員研修               |      | 福祉委員を対象に年1回開催(講師は社協)。                              | 1-1①<br>1-3①                         |
|      | 福祉講座                 | 重点   | 地域資源を生かした手作り講座を開催。                                 | 2-1③<br>2-4②                         |
|      | 視察研修                 |      | 川西市以外での福祉への取り組みを見学。                                |                                      |
|      | 認知症サポーター養成講座         |      | キャラバンメイトと協働して年3~4回実施。その中でキャラバンメイトのメンバーを増やす。        |                                      |

○青色は地区福祉委員会活動、黄色は部会など関連団体の活動



## 多田地区福祉委員会 第5次地区福祉計画

### 地区の特徴

多田地区は、川西市の中央部に位置し、学校や病院などの公共施設の充実とともに、交通や買い物などの利便性も高い地域です。また多田神社を中心とする歴史と、東西に流れる猪名川を擁する自然豊かな地域でもあります。このため、猪名川を挟んで地区内が分かれていることから、地区内で一体となった事業の推進が難しいこともあります。しかし、近年は、高齢者の人口割合が上昇する中、子育て世代の定着も図られ、**子ども食堂など、各種事業を通し**世代を超えた交流が盛んに行われています。

そこで、多田地区福祉委員会は、多田地域の将来を見据えた、地域で支えあう安心安全なまちづくりと、若者世代が活躍できる福祉活動を推進してまいります。

### 多田地区の人口、世帯数、高齢化率

### 福祉目標

人口などのデータは  
コチラ→



かわナビは  
コチラ→



地域で支えあい、安心安全なまちづくり  
～笑顔でつながり育てよう福祉の芽～

### 地区の重点事業

重点  
1

ちょっとした困りごとの支援＝高齢者支援

重点  
2

子どもたちの見守りと居場所づくり＝子育て支援

重点  
3

障がいのある方への地域の理解の推進＝障がい者支援

重点  
4

地域資源の活用・関係団体との連携・協働

### 地区別ワークショップでの意見

- ◇挨拶や声かけなど互いを大切にできる地域づくり
- ◇利便性があり安心して生活できる環境
- ◇居場所づくり
- ◇地域の行事やイベントの担い手の育成
- ◇单身でも安心できるつながりあるまちづくり
- ◇元気でいきいきと暮らせるまち
- ◇三世代交流のできるまち

### 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- ◇地域ニーズ把握の機会の充実（新規）
- ◇有償の訪問型助けあい活動の実施（新規）
- ◇SNSを活用した広報の実施やつながりづくり（新規）
- ◇新たな人材の確保（継続）
- ◇住民主体の講座や視察研修の実施（継続）
- ◇自治会、地域企業、福祉施設などとの連携の推進（継続）

現在の地区の取り組み

- 福祉講座
- 認知症サポーター養成講座
- 子ども食堂（2会場で月2回実施）
- 認知症予防脳トレゲーム「スリーA」
- 認知症カフェ「オレンジユ多田」

- 子育て支援「ぷちとまと」
- 多田コミュニティ協議会との連携
- 館外研修会
- 仲よし食事会

など多数

● 福祉講座 ●



（楽しい気功体操）  
子育て中の方でも気軽に  
参加していただいています。



（多田公民館共催 落語）  
笑い与健康のつながりを落語で  
楽しく学びました。

● 認知症カフェ ●  
「オレンジユ多田」



（日本舞踊）



（フラダンス）

毎月、様々なイベントを用  
意して、みなさまのお越し  
をお待ちしています。

● みんなの食堂 ●  
「ひだまり」



（多田公民館 集会室）



（吉永建設  
カルチャーセンター）  
毎回、ボリューム満点の  
メニューに、みなさん大満足  
されています。

● 多田コミュニティ共催 ●  
「もちつき大会」



つくたてのお餅は最高に美  
味しいです！

● なかよし食事会 ●



子どもたちの元気な声と  
笑顔に癒されました。

● 認知症予防脳トレゲーム ●  
「スリーA」



あかるくあたまをつかってあ  
きらめないをモットーに活動  
しています。





## 目的

地域にお住まいの高齢者に積極的に関わり、ちょっとした困りごとの支援を推進します。

## 具体的取り組み

- 高齢者をはじめ、日常生活で困ったことがあったときに、誰でも気軽に相談できるしくみを作ります。
- 地域で訪問型助けあい活動をする団体を立ち上げ、誰もが活動者として活躍できるよう、住民同士の支えあいを推進します。
- 認知症カフェ「オレンジ多田」、認知症予防脳トレゲーム「スリーA」体験教室、なかよし食事会など、地域を取り巻く環境やニーズを把握し、企画することで、より充実した交流につながるよう積極的に推進します。

## 目的

地域全体で、子どもの見守りと居場所づくりを推進し、子育て世代を応援します。

## 具体的取り組み

- 地域の子育て支援グループの実態を把握し、地域全体で、小学校の運動場や自治会館等を利用した、子どもたちが安心して過ごせる放課後の居場所づくりに力を入れます。
- 子育てグループ「ぷちとまと」の活動などを推進し、安心して子育てができる環境を充実させていきます。
- 子どもをはじめ、地域の誰もが利用できるみんなの食堂「ひだまり」を多世代交流の場、子どもや高齢者、障がいのある方などの見守り、活躍の場など、多様な機能や役割を持たせ、推進していきます。



目 的

障がいのある方の実態をより把握することで、地域共生社会の実現を目指します。

具体的取り組み

- 障がいのある方やその家族との地域交流を各種イベントで広げ、誰もが積極的に参加できる土壌を培います。
- 様々な行事を通して、地区内の障がい者支援団体との交流を活発にし、情報交換や協議を進め、障がいのある方の活躍の場を創生します。
- 多団体で連携し、実行委員会形式でスポーツイベント（パラリンピック多田）を開催します。

目 的

誰もが多田地区に住んでよかったと思える笑顔のまちに

具体的取り組み

- 従来の紙面による広報に加え、SNSの効果を研究、検討、実践する機会を通して、世代や境遇に合わせた効果的な広報・啓発に取り組みます。
- 趣味や特技を活かした地域活動者の人材確保に向けた取り組みが、福祉委員会の安定かつ継続した活動につながるよう取り組みます。
- 市社協や地域包括支援センター、地域の事業所、企業等と連携し、認知症サポーター養成講座、認知症行方不明者SOS模擬訓練、その他福祉講座等を実施することで、安心して暮らし続けられる地域をつくります。

多田地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

| 日 程             | 内 容             |
|-----------------|-----------------|
| ▷ 令和5年 7月24日(月) | 地区別ワークショップ 開催   |
| ▷ 令和5年10月24日(火) | 福祉ネットワーク会議 開催   |
| ▷ 令和5年12月11日(月) | 地区福祉計画策定検討会議 開催 |
| ▷ 令和5年12月20日(水) | 地区福祉計画策定検討会議 開催 |
| ▷ 令和6年 1月29日(月) | 地区福祉計画策定検討会議 開催 |
| ▷ 令和6年 2月15日(木) | 地区福祉計画策定検討会議 開催 |

## 多田地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名                          | 区分<br>新規・重点 | 内 容<br>内容、回数、定期開催の場合は曜日                       |
|------------------------------|-------------|---|
| 認知症予防脳トレゲーム<br>「スリーA」体験教室    | 重点          | 認知症予防脳トレゲーム体験教室 毎月1回                          |
| 認知症行方<br>不明者SOS模擬訓練          | 重点          | 認知症行方不明者SOS模擬訓練の実施                            |
| 認知症サポーター養成講座                 | 重点          | 地域住民に認知症についての理解を拡大                            |
| 認知症カフェ<br>「オレンジ多田」           | 重点          | 認知症の方とその家族が地域の方とふれあう場所<br>毎月第3火曜日13:30～       |
| 福祉講座                         | 重点          | 講演会   |
| 広報紙発行                        | 重点          | 広報紙「おもいやり」の発行                                 |
| 子育て支援                        | 重点          | まちの子育てひろば事業の推進<br>子育て相談窓口併設                   |
| なかよし食事会                      | 重点          | ひとり暮らしの高齢者と学童の交流食事会                           |
| ひとり暮らし高齢者支援                  | 重点          | 各地区高齢者団体支援                                    |
| 障がい児者とその<br>家族の集会・交流会        | 重点          | 餅つき大会、演芸大会                                    |
| 子ども食堂                        | 重点          | みんなの食堂「ひだまり」2店舗開催                             |
| 福祉ネットワーク会議                   |             | 校区内における福祉の問題について検討                            |
| 研修会                          |             | 社会福祉協議会による福祉委員研修                              |
| 高齢者団体支援                      |             | 各地区高齢者団体支援                                    |
| 地区福祉コミュニティの構築<br>支援「ふれあいサロン」 |             | 各自治会で行われている交流会・拠点活動の支援<br>「ふれあいサロン」で生活相談窓口を併設 |
| いきいき元気倶楽部                    |             | 簡易健診・健康体操・医療講演会他<br>(地域包括支援センター主催)            |
| サマーフェスティバル                   |             | 模擬店の出店(コミュニティ主催)                              |
| コミュニティ行事                     |             | コミュニティ行事への参加協力                                |
| 訪問型助けあい活動                    | 新規          | 訪問型助けあい活動をする団体の立ち上げを検討<br>住民同士の支えあいを推進        |



# 多田東地区福祉委員会 第5次地区福祉計画

## 地区の特徴

川西市の中東部に位置する多田東地区は国道173号線が南北に縦貫しており、沿道は商業地区として栄えています。古くから農業地区として歩みを進めてきた文化と、昭和40年代以降に宅地開発された新しい文化が融合している街です。更に地形的に地域の南～東側には南北に連なる丘陵地帯が豊かな自然と共に急峻ともいえる住宅地を作っており高齢者の生活や住民同士の交流が円滑に出来ない面もあります。

多田東地区福祉委員会では、コミュニティ・地域団体と協力し『皆で参加しよう！助けあいの「わ」』を福祉目標に世代間を超えて、地域住民皆で住みよい街づくりができるよう取り組んでいきます。

## 多田東地区の人口、世帯数、高齢化率

## 福祉目標

人口などのデータは  
こちら→



かわナビは  
こちら→



# 皆で参加しよう！助けあいの「わ」

## 地区の重点事業

- 重点1 誰もが安心して生活できる基盤づくり
- 重点2 地域の居場所・見守りの充実
- 重点3 福祉活動を担う人材確保
- 重点4 孤立する人がいない地域づくり

## 地区別ワークショップでの意見

- ◇災害時の助けあいを念頭においた交流の場をつくる
- ◇地域の中で見守りや話し相手が必要
- ◇世代間の交流ができるよう行事や祭り等に参加しやすい取り組みの実施
- ◇障がいのある人も外国人もともに交流できる機会をつくる

## 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- ◇ふれあい広場のさらなる企画の充実
- ◇福祉活動者の人材確保
- ◇災害を意識した人のつながり
- ◇小地域サロンの充実
- ◇なのはなの充実

現在の地区の取り組み

- 福祉ネットワーク会議
- 世代間交流事業（幼児・児童・老人会）
- 子育てサロン「多田東子育て広場」の実施
- 障がい児・者交流事業

- ふれあい広場「ほっこりのわ」の開催
- 生活支援部会「なのはな」の活動
- 認知症を学び対応を研修
- 一人暮らし高齢者の集い など多数



認知症行方不明者SOS訓練

多田保育所クリスマス会



いきいき元気倶楽部



障がい児・者との集い 知明湖キャンプ場にて（モルックと音楽）



一人暮らし高齢者の集い「たんぼぼの会」  
ハッピーボイス（嶋崎幸枝氏、甲田幸子氏）



いきいき元気倶楽部 モルック練習

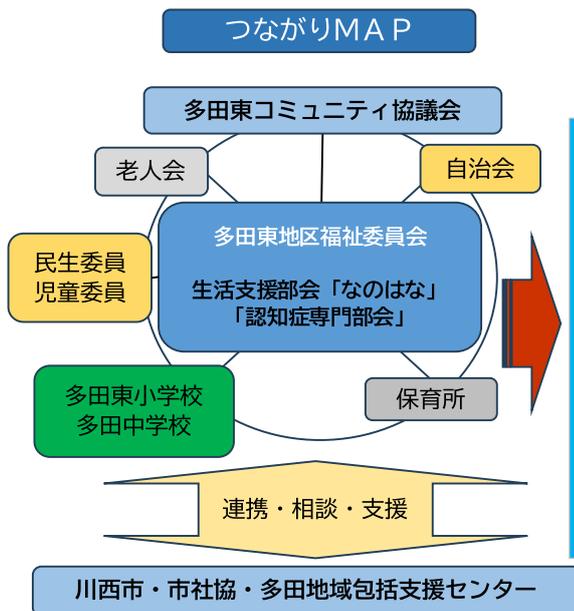


認知症家族の集い「オレンジのわ」ハーモニカ演奏とハンドマッサージ



ひとり暮らし高齢者の集い

つながりMAP



高齢者にやさしい  
まちづくり

ふれあい広場「ほっこりのわ」、認知症家族の集い「オレンジのわ」の充実、老人会との交流、たんぼぼの会、いきいき元気クラブ

認知症に対する  
学習と見守り対応

認知症サポーター養成講座、行方不明者SOS訓練、認知症専門部会による認知症ネットワークの活用

地域との連携強化

保育所、多田東小・多田中学校、コミュニティ協議会の各組織、自治会、管理組合、民生委員等との交流会

子育て支援、障がい  
児・者の支援

子育てグループとの交流会  
障がい児・者との交流会

ボランティア活動と  
組織の検討と見直し

生活支援部会「なのはな」の充実

行政等との連携

多田地域包括支援センターとの連携、川西市との連携、市社協との連携



## 目的

## 住民同士で支えあう社会づくり

## 具体的取り組み

- 生活支援部会「なのはな」の維持と充実を図ります。
  - ①毎月定例会を開き、振り返りや気付きを大切に、具体的な情報を皆で共有します。その中で必要に応じて、地域包括支援センター、民生委員等につなげます。
  - ②全戸配布のチラシ、川西市地域人材マッチング事業、コミュニティのホームページ等を使って「なのはな」の広報、並びに活動者の募集を行います。
- 認知症サポーター養成講座や行方不明SOS訓練を充実します。
  - ①自治会、多田中学校等で認知症サポーター養成講座を行い認知症の理解者を増やします。
- 車イス体験学習等を行います。
  - ①小学5年生、福祉委員に車イス体験学習を行い、障がい者への理解を深めます。

## 目的

## 地域の誰もが安心して楽しく過ごせる場所づくり

## 具体的取り組み

- ふれあい広場「ほっこりのわ」、認知症カフェ「オレンジのわ」の活動を充実します。
  - ①「オレンジのわ」で毎回イベントを行い参加者を増やします。
  - ②「ほっこりのわ」を広く住民の方に認知してもらうため、ハンドマッサージ等興味ある行事を取り入れていきます。
  - ③広く住民の方に認知してもらうためポスターの掲示をします。
- いきいき元気倶楽部やいきいき百歳体操の場で小地域ふれあいサロンを行います。
  - ①体操の後、お茶会や手芸会等を行い、つながりを広めていきます。
  - ②「交流の場」から「いこいの場」へ、そして「相談の窓口」へと発展させていけるよう運営を支援します。
- 生活支援部会「なのはな」の活動で見守り活動も充実させていきます。
- 地域関係団体と協力して子ども食堂、障がい児親の会等の開催に向け、力を合わせます。

重点  
3

福祉活動を担う人材確保



目的

住民の福祉活動への誘い

具体的取り組み

○福祉委員会が広く認知されるようにし、活動者を増やします。

- ①福祉委員会の活動を周知するため、コミュニティのホームページ、広報紙、川西市地域人材マッチング事業に掲載します。
- ②ボランティア活動（公園の掃除、小学校家庭科補助等）に参加している一般の方、いきいき百歳体操等に参加している方に声をかけ、他の福祉活動を具体的に紹介します。
- ③趣味や得意分野を活かし、活動に参加できることを周知し、仲間づくりや生きがいにつながるようにします。

重点  
4

孤立する人がいない地域づくり

目的

向こう3軒両隣の心で隣近所へ意識を向ける

具体的取り組み

○日頃から挨拶や声かけをして、近所同士のつながりを持ちます。

- ①外国人、障がい者、高齢者も取り残されないよう、災害時を意識した日頃のつきあいを大切にします。
- ②自治会、民生委員・児童委員、福祉委員、コミュニティ、商店、企業等と福祉ネットワーク会議を開き、防災、災害時についての話し合いから始めていきます。
- ③避難行動要支援者名簿に積極的に登録してもらうように働きかけます。

多田東地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

| 日 程  | 内 容  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 令和5年 6月19日（月）</li> <li>▷ 令和5年10月19日（木）</li> <li>▷ 令和5年11月13日（月）</li> <li>▷ 令和5年11月16日（木）</li> <li>▷ 令和5年12月 4日（月）</li> <li>▷ 令和5年12月18日（月）</li> <li>▷ 令和5年12月21日（木）</li> <li>▷ 令和6年 1月15日（月）</li> <li>▷ 令和6年 1月18日（木）</li> <li>▷ 令和6年 2月 5日（月）</li> </ul> | <p>地区別ワークショップ 開催</p><br><p>地区福祉計画策定検討会議 開催</p> |

## 多田東地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名              | 区分<br>新規・重点 | 内 容                                    |                 |
|------------------|-------------|--|-----------------|
|                  |             | 内容、回数、定期開催の場合は曜日                       |                 |
| ふれあい広場「ほっこりのわ」   | 重点          | ふれあい相談・憩いの広場                           | 毎週月曜日           |
| 一人暮らし高齢者の会       |             | 一人暮らし高齢者との親睦交流会                        | 7月（年1回）         |
| 障がい児・者との交流会      |             | モルックやボール遊び                             | 10月             |
| 認知症行方不明者SOS訓練    | 重点          | 地域包括支援センターとの訓練<br>（福祉委員・自治会など）         | 10月             |
| 認知症家族の集い「オレンジのわ」 | 重点          | 認知症本人・家族が気軽に立ち寄れる場所                    | 2か月に1回<br>（偶数月） |
| たんぽぽの会           |             | 一人暮らし高齢者との親睦交流会                        | 12月             |
| 多田保育所クリスマス会      |             | サンタクロースになって子供達との交流                     | 12月             |
| 一人暮らし高齢者へ年賀状の配布  |             | 多田保育所園児に絵を描いてもらって年賀状を配布                | 1月              |
| 多田東小学校車椅子体験      | 重点          | 5年生を対象に車椅子の体験を通して<br>障がい者への理解を深める      | 9月              |
| 多田中学校認知症サポート研修講座 |             | 1年生対象にサポート養成講座                         | 2月              |
| 認知症サポーター養成講座     | 重点          | 各自治会等への研修                              | 随時              |
| 福祉総会             |             | 全福祉委員を対象とした定期総会                        | 5月              |
| 自治会長との懇談会        |             | 各自治会長との懇談会                             | 5月              |
| 新人相談員研修          |             | ふれあい広場の新人担当者への研修                       | 5月～6月           |
| 子育てグループとの交流会     |             | 主任児童委員・子育てグループとの懇談会                    | 9月              |
| 福祉ネットワーク会議       | 重点          | 福祉ネットワーク会議メンバーによる<br>各団体の状況や地域福祉に関する協議 | 年2回～3回<br>随時    |
| 福祉講座             |             | 地域福祉に関する講座                             | 3月              |
| 生活支援部会「なのはな」     | 重点          | 訪問型支えあい活動                              | 随時              |
| 転倒予防・いきいき百歳体操    |             | 高齢者対象に転倒予防の体操                          | 毎週火曜日           |
| いきいき元気倶楽部        |             | 各自治会ごとの介護予防活動                          | 年2回             |



# グリーンハイツ地区福祉委員会 第5次地区福祉計画



## 地区の特徴

川西市北部に位置する、人口約13,799人（R5/3/31）の大型開発団地で（1965年開発開始・戸建て住宅中心）、高齢化率は40.8%と市内でも1~2の高率です。

健康で活発な高齢層が多く、現在、158名（令和5年度登録委員数）が地区福祉委員として6つの部会で活動を展開、毎月の役員会で各部会の活動状況を共有しています。

毎日（月～金）開設している居場所や、相談窓口、生活支援としての家事援助、定期的に開催する高齢者や乳幼児の集いなど、高いボランティア意識に支えられた地域密着の多彩な福祉活動を継続展開しており、これからも地域の安全・安心に寄与する取り組みとして充実を目指していきます。

一方、地域課題には、コミュニティや自治会と一緒に「オールグリーンハイツ」で取り組む体制も機能しており、今後は、高齢化や人口減少に対し、ともに生きる新たな地域づくりのために、地域資源を洗い直し、関係機関・団体との協議で、必要で豊かな福祉体制を構築していきます。

## グリーンハイツ地区の人口、世帯数、高齢化率

### 福祉目標

人口などのデータは  
こちら→



かわナビは  
こちら→



地域に根付いた福祉のまちづくり  
～「認め愛 支え愛」のネットワークを～  
ふだんの くらしが しあわせ

## 地区の重点事業

重点  
1

居場所の充実と拡充

重点  
2

高齢者の暮らし

重点  
3

認知症対策等の促進

重点  
4

人材育成・発掘

重点  
5

ともに生きるために

## 地区別ワークショップでの意見

- ◇居場所の充実と拡充
  - ・居場所（現3か所）の増設及び利用するための移動手段の確保
  - ・イベント開催は公園が参加しやすい
  - ・松風幼稚園の跡利用で児童館を開設しては？
  - ・居場所すまいで見守り担当が不足
- ◇高齢者のくらし
  - ・ふだんからの見守りが必要
  - ・能力を持った高齢者の把握が必要
  - ・地域事業に元気な高齢者しか参加できていない
  - ・地域の活性化のために大学生との連携が必要
- ◇認知症対策の促進
  - ・サポーター養成講座の参加者が少ない（特に若い世代）ため、多面的な参加呼びかけが必要
  - ・若い世代に高齢者への関心や連携をすすめる
  - ・認知症検査の受診がすまない
- ◇人材育成・発掘
  - ・若い世代の参加を促すには休日、夜間の開催を考える
  - ・子どもも対象のイベントで親の関心を高める
  - ・SNSで発信すると関心が広まるのでは？
  - ・ボランティアは有償が必要では？
  - ・高齢者の知識・能力を引き出すために「人材バンク」を設立する
- ◇ともに生きるために
  - ・障がい児・者の理解が不足している
  - ・家庭・子どもの貧困についても目を向けるべき
  - ・当事者の立場に立った支援が必要
  - ・障がい者を交えた車いす体験が必要



## 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- ◇居場所・つながり
  - ・期間中に2か所の居場所を増設したが、更なる増設や移動手段の検討が必要
  - ・運営を支えるボランティアの確保
- ◇高齢者のくらし
  - ・地域や人とのつながりの強化が必要
  - ・高齢者が活躍できる場及び自立のための事業の検討
- ◇成年後見制度の普及
  - ・制度の理解を深めるための出前講座の開催が必要
- ◇人材発掘・育成（福祉人材）
  - ・若年層の参加が少ない
  - ・委員の高齢化、役員不足

## 福祉ネットワーク会議メンバー

- ①グリーンハイツ地区福祉委員会
- ②民生委員・児童委員
- ③主任児童委員
- ④緑台・陽明コミュニティ協議会
- ⑤多田グリーンハイツ自治会
- ⑥緑台地区補導委員会
- ⑦緑台地区青少年育成市民会議
- ⑧陽明小学校
- ⑨緑台小学校
- ⑩陽明小学校PTA
- ⑪緑台小学校PTA
- ⑫NPO法人「成年後見センター・川西」
- ⑬NPO法人「さわやか北摂」
- ⑭緑台地域包括支援センター



グリーンハイツ地区福祉委員会



事務局

委員会の運営・男の料理教室・広報紙の発行

在宅福祉部会

子育て・一人暮らし高齢者の集い  
・なんでも相談（月～金）の実施

たすけあい部会

高齢者対象の友愛訪問・各種サロンの開催

ふれあい部会

世代間交流の場提供、自治会行事への協力

障がい者部会

ともにふれあい学びあう活動の場を提供

いこい部会

居場所として週5日間オープン（10時～16時）

家事援助部会

援助を必要とする家庭への支援、車いすの貸出し

## 現在の地区の取り組み

- 福祉ネットワーク会議
- 年末福祉餅つき大会（世代間交流）
- 男の料理教室（高齢者の自立支援）
- 居場所「いこい」「すまいる」「コミュニティサロン」の管理・運営
- 漢字ドリル同好会（障がい者交流）
- おしゃべり会（障がい者交流）
- このゆびとまれ（子育てひろば）
- 福祉の店（サマーカーニバル出店）
- やまびこ（なんでも相談）
- すみれ会、水曜会ほほえみサロン等高齢者の集い
- 家事援助（掃除、ごみ出し等の手助け）
- キャラバンメイトの活動支援（認知症サポーター養成講座等）
- 地域行事への協力
- 認知症セミナー、特殊詐欺被害防止講座など各種講座や研修会の開催
- 「福祉委員会だより」の発行（年6回）



子育てひろば  
「このゆびとまれ」



福祉カフェ「居場所 いこい」



サマーカーニバル



年末福祉餅つき大会



男の料理教室



一人ぐらし高齢者の集い  
「すみれ会」



車いす体験学習



認知症セミナー・ワークショップ



クリスマス音楽会



## 目的

地域の絆を強めるために世代を超えた場として充実させ、みんなが利用しやすい状況をつくる。

## 具体的取り組み

- 現在の居場所（既3施設）の拡大・充実を図るとともに空き家等を活用してみんなが利用しやすい状況をつくる。
  - ①子どもと高齢者を含む世代間交流の場となるよう検討する。
  - ②空き家等を活用して新たな居場所の増設を検討する。
  - ③居場所を管理する担い手を確保する。

## 目的

蓄積された高齢者の知識・技術のノウハウが活かせる仕組みを模索し、高齢者が生き生きと暮らし続けられる地域づくりを目指す。

## 具体的取り組み

- 見守り対策
  - ①各種団体との連携で情報を共有し高齢者の孤立を防止し、訪問型たすけあい活動を推進する。
  - ②高齢者の交流イベントや友愛訪問を継続し、充実・拡充を図る。
- 活躍できる場づくり
  - ・知識・能力を持った高齢者を発掘し、地域に活かせるよう仕組みを検討する。
- 地域活動参加の促進
  - ・地域活動に参加しやすいよう、移動手手段の確保を検討する。

## 目的

認知症当事者およびその家族と地域が共生するための対策を促進する。

## 具体的取り組み

- 認知症の理解をすすめるためにきめ細かなサポーターの輪を広げる。  
（認知症サポーター養成講座の開催など）
- ともに暮らせる伴走型支援者を育成するため、社会資源との連携を強化する。
- NPO法人「成年後見センター・川西」との協力で成年後見制度の活用を促進する。

重点  
4

人材育成・発掘



目的

地域を担う人材を発掘し、育成する。特に若年層、男性にも参加をすすめる。

具体的取り組み

- 「人材バンク」（仮称）の設立を検討する。
  - ・潜在能力の活用が生きがいにつながり、福祉力・地域力の底上げが期待できる。
- 広く一般からの参画を促すためにSNS等を活用して地域の状況を積極的に広報する。

重点  
5

ともに生きるために

目的

誰もが当たり前と一緒にいる地域を目指す。

具体的取り組み

- 多様な人たちがともしながりに支えあう場をつくる。
  - ・障がい児・者との交流の場づくり
  - ・地域や、支援者相互の関係づくりをすすめる。
  - ・研修会やイベントを開催する。



地区別ワークショップ及び検討会議

| 日 程    |             | 内 容                      |
|--------|-------------|--------------------------|
| ▶ 令和4年 | 7月 27日 (水)  | 地区別ワークショップ（福祉ネットワーク会議）開催 |
| ▶ 令和5年 | 5月 19日 (金)  | 地区別ワークショップ（福祉ネットワーク会議）開催 |
| ▶ 令和5年 | 10月 17日 (火) | 地区別ワークショップ（福祉ネットワーク会議）開催 |
| ▶ 令和6年 | 1月 25日 (木)  | 地区別ワークショップ（福祉ネットワーク会議）開催 |
| ▶ 令和5年 | 11月 15日 (水) | 福祉委員会部会長会議内容説明・協議        |
| ▶ 令和5年 | 12月 20日 (水) | 福祉委員会部会長会議内容説明・協議        |

## グリーンハイツ地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名       | 内 容<br>内容、回数、定期開催の場合は曜日              | 区分<br>新規・重点 |
|-----------|--------------------------------------|-------------|
| 居場所づくり事業  | 福祉カフェ「居場所 いこい」(月～金曜日)                |             |
|           | 新たな居場所づくりの検討                         | 重点          |
|           | 移動手段の検討                              | 新規          |
| 相談事業      | なんでも相談「やまびこ」(月～金曜日)                  |             |
| 福祉の基盤整備   | 福祉ネットワーク会議<br>(地区福祉計画策定 R6～R13 8年度分) | 重点          |
| 人材発掘・育成事業 | 各世代への説明会・研修会                         |             |
|           | 車いす体験学習(小中学校)                        |             |
|           | トライ・やるウィークに協力(緑台中学校)                 |             |
| 高齢者の交流    | 一人ぐらし高齢者の集い「すみれ会」(1回/年)              |             |
|           | 高齢者の集い「水曜会ほほえみサロン」(1回/月)             |             |
|           | 高齢者の集い「ふれあいサロン」(5回/年)                |             |
| 世代間交流     | 年末福祉餅つき大会                            |             |
| 地域事業へ協力   | サマーカーニバル、グリーンフェスタ(GH自治会主催)           |             |
|           | 防災訓練に協力(自主防災会主催)                     |             |
|           | 体育祭、ぴいふるひろばに協力(コミュニティ主催)             |             |
| 子育て支援事業   | 子育てひろば「このゆびとまれ」、クリスマス会               |             |
| 障がい者支援事業  | 漢字ドリル同好会(2回/月)                       |             |
|           | 遊ぼう会                                 |             |
|           | 地域での理解、支援をすすめるための講座など                | 重点          |
| 見守り事業     | 安否確認のための友愛訪問、電話訪問                    |             |
|           | つながりサポート事業の推進                        | 新規          |
| 生活支援事業    | 家事援助                                 | 重点          |
|           | 自立を助ける男の料理教室                         |             |
| 認知症対策事業   | 認知症サポーター養成講座(共催:キャラバンメイト連絡会)         | 重点          |
|           | 行方不明高齢者捜索訓練(共催:キャラバンメイト連絡会)          |             |
|           | 認知症セミナーの開催                           | 新規・重点       |
| 成年後見制度の普及 | NPO法人「成年後見センター・川西」の活動に協力             | 重点          |
|           | 各種組織・団体への説明会                         |             |
| 広報・啓発     | 「福祉委員会だより」を発行(6回/年)                  |             |

(2024年度現在実施分)

グリーンハイツ地区福祉委員会  
第5次地区福祉計画策定委員名簿

(順不同)

| 所属                      | 氏名(敬称略) |
|-------------------------|---------|
| グリーンハイツ地区福祉委員会 委員長      | 岡 康栄    |
| グリーンハイツ地区福祉委員会 事務局長     | 難波 康晃   |
| グリーンハイツ地区福祉委員会 事務局      | 田中 健夫   |
| グリーンハイツ地区福祉委員会 事務局      | 中禮 悦子   |
| グリーンハイツ地区福祉委員会 会計       | 近藤 明美   |
| グリーンハイツ地区福祉委員会 在宅福祉部会長  | 前田 とよ美  |
| グリーンハイツ地区福祉委員会 ふれあい部会長  | 高田 朋治   |
| グリーンハイツ地区福祉委員会 いこい部会長   | 山本 嘉代子  |
| グリーンハイツ地区福祉委員会 たすけあい部会長 | 工藤 千恵子  |
| グリーンハイツ地区福祉委員会 障がい者部会長  | 冨田 啓子   |
| グリーンハイツ地区福祉委員会 家事援助部会長  | 平井 みどり  |
| 緑台・陽明コミュニティ協議会 会長       | 高垣 久夫   |
| 多田グリーンハイツ自治会 会長         | 中村 英二   |

※所属と役職は策定当時のものです。



## 清和台コミュニティ協議会 福祉部会 (清和台地区福祉委員会)第5次地区福祉計画



### 地区の特徴

清和台地区は、川西市の北西部に位置し、昭和40年代半ばから戸建て住宅や共同住宅を中心に開発され、教育施設や商業施設、医療・介護施設、スポーツ施設などが整備された「清和台」と、旧来からなる住宅地に大型物流施設が混在する「石道」、「ライオンズマンション清和台」、「虫生」、「赤松」、「柳谷」の6地区がコミュニティを形成し、背に岩根山・六石山を背し、地には清流猪名川を臨み、市の北の玄関口として道路網も整備された、自然豊かで居住環境の整った地域です。

しかしながら、この地区においても少子高齢化や核家族化の波は急速に進展しており、ますます地区福祉活動の重要性が高まっております。我々福祉委員会は、地区住民が安全で安心して暮らし続けられる地区・住みたい地区を目指し、本第5次地区福祉計画を基に、一層充実した取り組みを行って参ります。

### 清和台地区の人口、世帯数、高齢化率

人口等のデータは  
コチラ→



かわナビは  
コチラ→



### 福祉目標

つながりと支え合いで、安全・安心して暮らせるまち清和台

### 地区の重点事業

重点  
1

地区福祉活動を担う人材の確保と育成

重点  
2

高齢者・障がい者(児)が参加・活躍できる居場所・機会づくり

重点  
3

心豊かで思いやりのある子育て支援の充実

重点  
4

相談事業の充実・継続と広報・啓発の積極的な推進

### 地区別ワークショップでの意見

- ◇ 地区内事業者(商業・医療・福祉施設)との連携した取り組み
- ◇ 若い人が参加しやすく世代を超えた交流
- ◇ 公共施設・空き家等を活用した居場所づくり
- ◇ 高齢者の活躍できる機会づくり
- ◇ 独居高齢者の掌握
- ◇ 認知症予備者の掌握と活動参加
- ◇ 高齢者の移動支援
- ◇ 障がいを知り、障がい者家族との関わり方の検討
- ◇ 障がい者が参加できる環境づくりの充実
- ◇ 子どもを地区で見守る仕組みづくり
- ◇ 世代間交流の機会を増やす
- ◇ 子どもの居場所づくり

## 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

### ◇福祉活動を担う人材確保と育成

- ・学校活動に対する保護者の関わり方が困難な時代になっていることから、繋がりが持てる取り組みが必要
- ・自治会組織への一層の働きかけに加え、地区内居住の若い世代の人材確保への積極的な働きかけが重要

### ◇高齢者が地区福祉活動に参加しやすいきっかけづくり

- ・参加者が受け手ではなく、担い手として主体的に参加できるような働きかけを継続する
- ・活動者の高齢化の進展等から、需要と供給のバランスが崩れる傾向にある
- ・地区ホームページや広報紙の積極的な活用で活動参加者を募る必要がある

### ◇地区の資源（施設・人材）を活用した居場所づくり

- ・自治会館を活用し、各会館周辺居住住民の理解の下、新たな居場所の開設が必要
- ・地区内空き住宅の活用ができないか要検討

### ◇地区と関係団体とのつながり、ネットワークの強化

- ・福祉ネットワーク会議を活用し、関係団体とのつながり、ネットワークの強化を図り、幅広い参画を呼び掛ける

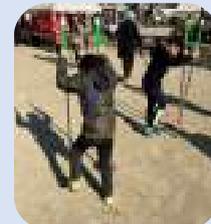
### ◇窓口事業（くらしの相談窓口「こころ」）の継続と充実

- ・窓口の周知が不十分なため工夫を凝らした周知方法を検討
- ・窓口スタッフの確保と養成が重要
- ・窓口スタッフの研修を一層推進することが重要

## 現在の地区の取り組み



○福祉ネットワーク会議 ○啓発・広報事業 ○窓口事業（くらしの相談窓口「こころ」） ○助け合い事業（助け合いネットワーク・災害時要援護者支援・和カフェ・ひとやすみカフェ・行方不明者SOS） ○交流事業（ふれあい広場・ほのぼの会・さんりんしゃ・じてんしゃ・オンリーワン交流会） ○地域イベント事業（敬老のお祝い・とんど祭り・餅つき大会・文化祭出店・さくら祭り出店） など





## 重点 1 地区福祉活動を担う人材の確保と育成

### 目的

元気な高齢者や若い世代の参画を促進し、幅広い人材の確保により、福祉活動の一層の推進を図る。

### 具体的取り組み

- 福祉ネットワーク会議で、学校関係保護者や地区内事業者等に活動参画を要請する。
- 自治会役員(福祉委員)に任期満了後の福祉委員就任を働きかけ、福祉委員会組織の強化と充実を図り、持続可能な組織をつくる。
- 自治会を通じ福祉活動の協力者を募る。
- 地区内居住の学生を中心に各事業への参画ボランティアを募る。



## 重点 2 高齢者・障がい者(児)が参加・活躍できる居場所・機会づくり

### 目的

高齢者・障がい者(児)が元気で楽しく、生きいきと暮らし活躍できる居場所・機会づくりを推進する。

### 具体的取り組み

- 「ほのぼの会」・「ふれあい広場」や「カフェ」を通じ、引きこもりがちな高齢者や障がい者(児)の参加・活躍を促進すると共に、認知症の予防にも繋げる。
- 現役をリタイアされた方の経験を誘導し「助け合いネットワーク」を活性化させる。
- 「オンリーワン交流会」を通じ、障がい者や障がい児の集い、保護者の交流を充実させ、地区活動に参加・活躍できる環境づくりを一層推進する。
- 災害時の要援護者支援者を拡充させ、安否確認や避難所への誘導など安心して暮らせる環境を整える。
- 民生委員・児童委員、主任児童委員、認知症サポーター、キャラバンメイトによる活動を充実させる。また、認知症予備者の発掘・働きかけを研究し推進する。
- お買い物・通院などの移動支援の検討や新たな居場所づくりに取り組む。



重点  
3

## 心豊かで思いやりのある子育て支援の充実

### 目的

元気ある声が息づき、心豊かで思いやりと感謝の気持ちを育む、地区の次代を担う子どもの育成を目指す。

### 具体的取り組み

- 「じてんしゃ」において、昔あそびや世代間交流等を通じ、思いやりのある豊かなところを醸成する。
- 「さんりんしゃ」において、子育て中の親の交流を推進し、安心して子育てできる地区環境を目指す。
- 「子ども食堂」の安定本格実施に向けた取り組みを支援し、食の安全・安心や大切さ、友達づくりなど、子育てを推進する。

重点  
4

## 相談事業の充実・継続と広報・啓発の積極的な推進

### 目的

少子高齢化・核家族化の時代にあって、清和台地区における地区福祉活動の重要性や必要性、共助意識の高揚を図るとともに、頼られる福祉活動の拠点化を目指す。

### 具体的取り組み

- 暮らしの相談窓口「こころ」や「つながりサポート」において、地区住民の身近な相談やよろず相談、一人暮らしの安否確認等に取り組み、関係機関と連携した、安全で安心して暮らせる地域づくりを推進する。
- 窓口スタッフの増強を図る。
- 窓口スタッフの研修を充実させ、スタッフの資質の更なる向上を図る。
- 「広報」・「啓発」に工夫を凝らし、SNS等を活用して、安全・安心な“ふくしのまち清和台”をアピールしていく。
- 川西市、社会福祉協議会、地域包括支援センター、警察署・学校・福祉施設など関係機関と連携を密にし、安全で安心して暮らせる地区づくりを推進する。

### 清和台地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| ▷令和4年 2月 2日 (木)   | 第4次地区別計画 検証          |
| ▷令和5年 6月 27日 (火)  | 地区別ワークショップ 開催        |
| ▷令和5年 10月 27日 (金) | 地区別ワークショップ 開催        |
| ▷令和5年 9月 26日 (火)  | 第1回第5次地区福祉計画策定委員会 開催 |
| ▷令和5年 11月 15日 (水) | 第2回第5次地区福祉計画策定委員会 開催 |
| ▷令和5年 12月 12日 (火) | 第3回第5次地区福祉計画策定委員会 開催 |
| ▷令和6年 1月 15日 (月)  | 第4回第5次地区福祉計画策定委員会 開催 |



## 清和台地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名               | 区分<br>新規/重点      | 内 容<br>内容、回数、定期開催の場合は曜日  |          |
|-------------------|------------------|--|----------|
| つながり・支え合う共生の地域づくり |                  |  |          |
| 福祉ネットワーク会議        | 重点<br>つながり       | 学校・福祉事業所等福祉関連団体が集い、情報交換や地域の課題を協議し解決策を図り実践に導く関係団体等の加入促進を図る (3回/年)                                 | 人材       |
| 啓 発               | 重点<br>つながり       | 自治会や福祉関連団体等に対し、福祉講座、医療講座等福祉に関する課題研修を定期的実施し、部会内外への周知・啓発を図る (随時)                                   | 啓発       |
| 広 報               | 重点<br>つながり       | 地区福祉活動だよりを「せいわだいにゆ〜す」に毎月1回掲載、ふくしのまち清和台を年2回発行、ポスター・パンフレット、インスタグラムの活用による事業参加を推進                    | 啓発       |
| 窓 口               | 重点<br>暮らし        | くらしの相談窓口「こころ」を開設し、よろず相談、専門機関・ボランティアへの取次ぎ、一人暮らし高齢者の見守りと安否確認、認知症行方不明者SOS受発信、車いす貸出等実施 (毎週月曜～金曜)     | 相談       |
| つながりサポート          | 新規<br>重点<br>つながり | 地域の高齢者への新たな通信手段の一つとして、スマホやタブレットを用いたつながりを目指す<br>ペイペイ知識やInstagram研究、詐欺情報の共有など十分な研究を経て実現を目指す (1回/月) | 交流       |
| 要援護者支援            | 重点<br>支え合い       | コミュニティと連携して災害時における要援護者の安否確認と一時避難場所までの誘導を支援<br>行政との連携に加え、支援者の拡大・充実に努める                            | 高齢       |
| ほのぼの会             | 支え合い             | 65歳以上のお一人暮らしの高齢者を対象に、親睦と見守りを兼ねた交流会を年1回以上開催<br>一人暮らし高齢者の把握と参加誘導を工夫                                | 高齢       |
| さんりんしゃ            | つながり             | 子育て中の親と子どもの交流会。子育ての悩み事や情報交換・子ども遊び等を通じ、子育ての楽しさを実践 (第2水曜/月)  | 子供<br>交流 |
| じてんしゃ             | つながり             | 地域イベント「とんど祭り」で昔遊びや3世代交流<br>自転車講習を実施し、地域住民と子どもたちの交流を図る (1回/年)                                     | 子供<br>交流 |
| オンリーワン交流会         | 支え合い             | 障がい者(児)の集い、保護者の情報交換交流会を年2回実施、カレーパーティ随時実施   | 障害       |
| 地域イベント事業          |                  |  |          |
| 敬老のお祝い            |                  | 70・77・80・88・90・99・100歳以上の方にお祝い品を配付 (敬老の日)  |          |
| さくら祭り出店           |                  | 焼きそば・綿菓子・ポップコーンの店の出店 (売上:自主財源)   |          |
| 文化祭出店             |                  | うどん・炊き込みごはん・綿菓子・ポップコーンの店の出店 (売上:自主財源)  |          |

| 事業名                    |       | 区分<br>新規/重点 | 内 容<br>内容、回数、定期開催の場合は曜日  |          |
|------------------------|-------|-------------|--|----------|
| つながり・支え合う共生の地域づくり      |       |             |  |          |
| 地域イベント事業               | 餅つき大会 |             | 地域住民・子ども達を交えた、3世代交流の餅つき大会 杵つき餅を一般住民に配布   |          |
|                        | とんど祭り |             | とんど祭り時のじてんしゃ事業(昔遊び・子ども交通安全講習会等)に加えぜんざいを提供  |          |
| 誰もが安心して生活できる基盤づくり      |       |             |  |          |
| 子ども食堂支援                |       | 新規<br>重点    | コミュニティ事業として、令和5年9月より毎月2回(第2・第4金曜日、17時～19時50分)公民館で実施、食事提供と自習(宿題)やお遊び等、安定本格運営まで支援                | 子供       |
| 「和」カフェ<br>(認知症カフェ)     |       | 重点          | 認知症の方の介護等で悩まれている方々の集い 休日の午後のひと時を、お喋りや軽体操、歌唱等を通じて元気回復の一助事業 (1回/月)                               | 高齢<br>交流 |
| 「ひとやすみ」カフェ<br>(認知症カフェ) |       | 重点          | 介護や子育てをされている方、お一人暮らしされている方を対象に、地域商業者と協調開催する事業 お茶と音楽で「ホッ」と一休み (1回/月)                            | 高齢<br>交流 |
| 助け合いネットワーク             |       | 重点          | 家事活動の支援を希望される高齢者や病弱な方、障がいのある方等を対象に、地域の登録ボランティアが支援する事業で、ゴミ出し、簡易な大工工事、草引き、草刈り、買い物・通院付き添い等多種 (随時) | 高齢       |
| 行方不明者SOS               |       | 重点          | 民生委員・児童委員、地域の認知症サポーター、キャラバンメイトを中心とした活動<br>認知症を正しく理解し、そっと見守り、手助けができるよう「認知症サポーター養成講座」開催          | 民生       |
| ふれあい広場                 |       |             | 地域住民が気軽に立ち寄れる、楽しい「集いの場・居場所」で、地域活動家協力によるイベントや映画会、お茶のみ談話等実施 (1回/月)                               | 交流       |

## 清和台地区福祉委員会 計画策定委員名簿

(順不同)

| 所属         | 氏名(敬称略) |
|------------|---------|
| 清和台地区福祉委員会 | 武田 由美子  |
| 清和台地区福祉委員会 | 西口 幸子   |
| 清和台地区福祉委員会 | 高須 共子   |
| 清和台地区福祉委員会 | 庄田 徳男   |
| 清和台地区福祉委員会 | 岸野 紀美   |
| 清和台地区福祉委員会 | 村上 智永子  |
| 清和台地区福祉委員会 | 大塚 みゆき  |
| 清和台地区福祉委員会 | 武田 容美   |
| 清和台地区福祉委員会 | 河合 泰教   |
| 清和台地区福祉委員会 | 中村 清秀   |

# けやき坂小地区福祉委員会 第5次地区福祉計画



## 地区の特徴

けやき坂小地区は、川西市の中西部に位置する自然豊かで成熟した地区です。  
けやき坂住宅団地は、昭和60年に1丁目から入居が始まり、その後順次開発が進み、人口増が続いてきました。  
しかし昨今、当地区も少子高齢化が進む中、平成28年をピークに年々人口減少の傾向にあります。更に、空き家の発生も見られます。  
こうした状況を踏まえ、これからの「けやき坂」のまちづくりについて、改めて検討する時期にきている地域でもあります。

## けやき坂小地区の人口、世帯数、高齢化率

## 福祉目標

人口等のデータは  
コチラ→



かわナビは  
コチラ→



## 誰もが心豊かに暮らせる 福祉のまち “けやき坂”

## 地区の重点事業



1 地区福祉活動への参加・参画・居場所の確保



2 高齢者・障がい者・子どもへの見守り  
・支え合いと集いの場づくり



3 福祉教育の推進



4 福祉の基盤活動の推進

## 地区別ワークショップでの意見

- \* 困りごとや地域のことを話し合える場づくり、場の提供
- \* 安全・安心に遊べる公園の環境整備と活用
- \* 世話役となる人の、担い手の育成や確保
- \* 障がいのある人も参加できる楽しいイベントやスポーツ大会等の企画・実施
- \* 保護者が帰宅するまでの放課後時間帯の見守り体制づくり

## 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- \* 避難行動要支援者支援のマニュアルづくり
- \* 公園に設置されている「健康遊具」の利用促進、使用方法の実習会の開催
- \* 親子参加型の講座や教室への取り組み
- \* 新たな福祉委員や各種事業スタッフの確保

現在の地区の取り組み

見守り活動



敬老の日祝福事業



ふれあい喫茶とカラオケ



ももちゃんカフェ  
(認知症カフェ)

支え合い活動



共同募金



クリスマス会(高齢者の集い)



たすけ愛げやき  
(訪問型支え合い)



車いす貸出



つながり活動



ひとり暮らし高齢者ふれあいサロン



ほっとサロン  
(障がい(児)者・家族等のふれあい)



卓球バレー

基盤整備活動



全体会、福祉ネットワーク会議



福祉講座



ひなまつり会  
(高齢者の集い)



福祉広報・啓発活動



## 目的

高齢者、障がい(児)者、子どもなどあらゆる世代や境遇にあっても、能力や関心に応じて「各種事業活動への参加」、「地域の中で活躍する場」及び「安心できる自分の居場所」の確保と充実を図る。

## 具体的取り組み

- ▶ 「交流会館けやき」等で開催する各種事業が、気軽にちょっと立ち寄れる場所であることの周知に努めるなど、居場所の確保と拡大に努める。
- ▶ 「交流会館けやき」等で開催する各種事業で、参加者も可能な範囲で世話役として活動して貰える方向で取り組む。
- ▶ 「たすけ 愛 けやき事業」での活動者の確保、育成に努める。

## 目的

高齢者・障がい者等、見守りが必要と思われる人に対しての、直接的(訪問や電話など)や間接的(郵便受けや雨戸の開閉など)取り組み及び支え合いの充実を図る。

高齢者や障がい者等を対象とする各種事業を開催することにより、支え合いの場づくり、集いの場づくりの推進を図る。

高齢者や障がい者は、単なる参加者ではなく、可能な範囲で事業に参加・参画出来る工夫に努める。

## 具体的取り組み

- ▶ 「認知症行方不明事案発生時の対応マニュアル」の作成
- ▶ 高齢者や障がい者等を対象とする集いの場づくりの充実・強化
- ▶ 障がい(児)者とその家族など、親子参加型の交流事業の推進
- ▶ 放課後や土・日・祝日での子どもの居場所づくり
- ▶ 地域と家庭、学校とのつながり、高齢者と子どもとのつながりや場づくりの推進
- ▶ 「災害発生時における要支援者支援のマニュアル」の作成



## 重点 3 福祉教育の推進



### 目的

けやき坂小地区における福祉の充実・強化を図りつつ、福祉課題の検討を行うため、福祉委員はもとより、地域住民を対象に「各種福祉講座や研修会」を随時開催する。

### 具体的取り組み

- ▶ 地区福祉課題の理解と解決に向け、福祉委員はもとより地域住民対象に「各種の福祉講座や研修会」を開催する。合わせて川西市や川西市社会福祉協議会等が開催する講座や研修会への参加も勧める。



## 重点 4 福祉の基盤活動の推進

### 目的

地区福祉活動の推進に要する人材の確保、活動拠点の整備、各種財源の確保等、活動基盤の整備に取り組む。

### 具体的取り組み

- ▶ 福祉人材(特に若い世代、後継者、スポット協力者)の確保への取り組み
- ▶ 障がい者や高齢者をはじめ集い等各種事業への参加者も、事業のスタッフとしての参加を勧める。
- ▶ 「コミュニティニュース」や「月間コミュニティ情報」、「各種事業案内」等による広報および福祉委員による声かけ等により、福祉人材の確保に努める。
- ▶ 社会福祉協議会会員の確保や共同募金活動への取り組み
- ▶ 自主財源(事業参加者負担金、各種出店事業収入等)の確保への取り組み

### けやき坂小地区 地区別ワークショップ及び検討会議

| 日 程        | 内 容                             |
|------------|---------------------------------|
| 令和5年 6月18日 | 地区別ワークショップ(第1回)                 |
| 令和5年10月20日 | 地区福祉計画検討会議(第1回)                 |
| 令和5年11月12日 | 地区福祉計画検討会議(第2回)                 |
| 令和5年12月10日 | 地区福祉計画検討会議(第3回)                 |
| 令和6年 1月 7日 | 地区福祉計画検討会議(第4回)                 |
| 令和6年 1月20日 | 福祉ネットワーク会議及び<br>地区別ワークショップ(第2回) |
| 令和6年 2月11日 | 地区福祉計画検討会議(第5回)                 |
| 令和6年 3月 9日 | コミュニティ運営委員会                     |
| 令和6年 5月 日  | 福祉委員全体会総会                       |
| 令和6年 5月19日 | コミュニティ総会                        |

けやき坂小地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名                 | 重点 | 内 容（定期開催の場合は曜日）   |
|---------------------|----|---|
| 福祉なんでも相談会           | 重点 | 民生委員・児童委員による相談会 毎月第1月曜日   |
| 各種高齢者ふれあい事業         | 重点 | 七夕まつり、クリスマス会、ひなまつり会<br>ひとり暮らし高齢者ふれあいサロン(年間2回)   |
| 敬老の日祝福事業            |    | 70歳以上の高齢者対象に、福祉委員の訪問による「赤飯」のお届けと合わせて啓発活動  |
| 車椅子貸出事業(無料)         |    | 通年事業  |
| ももちゃんカフェ            | 重点 | 認知症カフェ(毎月第2月曜日)<br>【内容】喫茶とお手前、脳活アロマ、脳活メイク   |
| 認知症サポーター養成講座        | 重点 | 一般住民対象<br>けやき坂小3年生対象(けやき坂小学校において)   |
| 認知症行方不明者SOS模擬訓練     | 重点 | 認知症福祉部会委員による模擬訓練(連絡網による電話連絡と参加者による意見交換)   |
| ほっとサロン(つながり)        | 重点 | 障がい児(者)・家族等とのふれあい(毎月第4木曜日)<br>障がい福祉勉強会  |
| 各種健康づくり事業           | 重点 | 健幸づくり教室、卓球バレー講習会と大会、モルック体験会と大会、グランドゴルフ大会、スローイングビンゴ大会、ウォーキング                                     |
| ヘルスアップ教室            |    | 各種体操等【協力事業】   |
| 各種居場所づくり事業          | 重点 | アロマ講習会(毎月第3月曜日)、小物作り(毎月第4月曜日)、干支づくり・木目込み人形づくり(随時)、みんなで歌をと喫茶(毎月第1～第4水曜日)、ふれあい喫茶とカラオケ(毎月第2、第4金曜日) |
| ユニバーサルカフェ           |    | たこ焼ほか(年間3～4回)【交流会館管理・運営委員会と共催】  |
| 子育て事業               | 重点 | お琴体験教室、子ども茶道教室【放課後子ども教室への協力】、むかしあそび(凧揚げ、コマまわし等)、子どもの居場所づくり                                      |
| 子育てサロン              | 重点 | 子育てひろば事業【主任児童委員担当】  |
| 「たすけ 愛 けやき」事業       | 重点 | 訪問型有償ボランティア活動(通年)   |
| 福祉広報・啓発活動           | 重点 | 「各種福祉事業案内文書」の作成と全戸配布、「コミュニティニュース及び月間コミュニティ情報」への掲載   |
| 福祉人材の確保             | 重点 | 新規の人材の確保  |
| 人権映画上映会             |    | 【人権啓発推進委員会と共催】  |
| 福祉講座                |    | 【けやき坂公民館と共催】  |
| 文化祭での出店事業           |    | 福祉担当「うどん、炊き込みご飯の調理と販売等」   |
| 共同募金等の活動            |    | 公民館ロビー及び文化祭会場で実施  |
| 夏季防犯パトロール           |    | 福祉当番(生活安全委員会主催)   |
| 環境整備活動              |    | 【協力事業】交流会館、公民館周辺の剪定・除草  |
| 福祉委員全体会             |    | 定期総会  |
| 福祉ネットワーク会議          |    | (年間1～2回開催)  |
| 地区別ワークショップ          |    | 必要に応じて開催  |
| 川西市地域福祉市民フォーラム等への参加 |    | 川西市や川西市社会福祉協議会等が開催する事業への積極参加  |
| 各種会議等への参加           |    | 障がい者一日サロン、5地区認知症カフェ連絡会等   |
| 多田ブロック連絡会の開催と参加     |    | 年間3回開催(開催輪番:グリーンハイツ、清和台、けやき坂)   |
| 役員・部会長会議            |    | 毎月開催  |
| 各種部会会議              |    | 随時開催  |
| 会計処理                |    | 会計監査、金銭出納(通年)、助成金等の処理(通年)   |

## けやき坂小地区福祉委員会計画策定委員名簿

敬称略

| 所属           | 役職名           | 氏名     |
|--------------|---------------|--------|
| けやき坂小地区福祉委員会 | 相談役、認知症福祉部会長  | 津山 芳子  |
| けやき坂小地区福祉委員会 | 委員長           | 山口 富美子 |
| けやき坂小地区福祉委員会 | 副委員長          | 山本 令子  |
| けやき坂小地区福祉委員会 | 副委員長、健幸づくり部会長 | 伊達 光子  |
| けやき坂小地区福祉委員会 | 書記、子育て部会長     | 岡本 史子  |
| けやき坂小地区福祉委員会 | 会計、たすけ愛部会長    | 行武 為久子 |
| けやき坂小地区福祉委員会 | 会計            | 上田 寿   |
| けやき坂小地区福祉委員会 | 民生委員児童委員部会長   | 森 日出子  |
| けやき坂小地区福祉委員会 | 広報部会長         | 築瀬 繁子  |
| けやき坂小地区福祉委員会 | 高年福祉部会長       | 横山 裕子  |
| けやき坂小地区福祉委員会 | 障がい福祉部会長      | 杉谷 あゆみ |
| けやき坂小地区福祉委員会 | サポーター部会長      | 野田 繁二  |



## 地区の特徴

東谷の良いところは自然と、人と人のつながりを大切にるところです。しかし今人と人とのつながりが少しずつ変わってきています。自然環境、生活様式の変化から支えあいや、見守りが昔の形を変えなくてはつながりが持てなくなってきました。また今後団塊の世代が介護難民となってきます。子育ても家族だけでは支えられなくなっています。地域の支えあいがどのような形なら、誰もが安心してくらすことができる東谷となるのかを考えていく必要があります。福祉委員会では、今後の8年間を見据え誰もが安心して暮らすことのできる東谷地域福祉活動を行っていきます。

## 東谷地区の人口、世帯数、高齢化率

人口などのデータは  
→ [コチラ](#)



かわナビは  
→ [コチラ](#)



## 福祉目標

# ともにささえあうふれあいのまち・ひがしたに

## 地区の重点事業

重点

1

見守り・つながり・支えあい（居場所づくり）

重点

2

見守り・つながり・支えあい（仕組みづくり）

重点

3

見守り・つながり・支えあい（地域での助け合い）

重点

4

みんなに知ってもらう（広報活動）

重点

5

この指とまれ(人材確保)

## 地区別ワークショップでの意見

- ◇移動手段の確保（居場所に行きたい）
- ◇三世代の交流できる場所（誰もが気軽に集まれる場所）
- ◇不登校児の居場所
- ◇安否確認ができる体制づくり
- ◇避難訓練の実施

## 第4次地区福祉計画からの課題（平成30年度～令和5年度）

- ◇誰もが安心して立ち寄ることの出来る場所
- ◇自分の役割がある場所づくり
- ◇コミュニティ、自治会、民生委員・児童委員との連携
- ◇移動手段の確保
- ◇ボランティアの人材確保
- ◇福祉携帯電話の利用
- ◇自主財源の確保

現在の地区の取り組み

- ①小地域ふれあいサロン
- ②ふらっと・bの開催（認知症があってもなくても安心できる居場所）
- ③ハートフル・カフェの開催（障がいがあってもなくても安心できる居場所）
- ④カフェ・のぞみの開催（誰もが集える居場所）
- ⑤ほっと・笑の開催（高齢者の集える居場所）
- ⑥あひるクラブの支援（親子の居場所）
- ⑦東友会の開催（高齢者の支えあい）
- ⑧フードパントリーの開催（子どもの居場所と子育て支援）
- ⑨子ども食堂の開催（子どもの居場所と子育て支援）
- ⑩「東谷のふくし」広報誌の発行
- ⑪福祉ネットワーク会議の開催（東谷の福祉課題や解決方法を話し合う場）
- ⑫避難行動要支援者支援の仕組みづくり



カフェ・のぞみ



あひるクラブ



ほっと・笑



ふらっと・b



フードパントリー



東友会



子ども食堂





## 目的

身近な場所に、誰もが気軽に立ち寄れ、安心できる居場所を増やすことで、地域のつながりづくりを推進します。

## 具体的取り組み

- ▶ 各地域で取り組んでいる「小地域ふれあいサロン」の実施を支援します。開催場所の増加を目指し、歩いて行ける所での居場所づくりに取り組むと同時に地域でのつながりを作ります。
- ▶ 誰もが気軽に立ち寄れる「カフェ・のぞみ」、認知症の方やその家族の方が安心して話ができる「ふらっと・b」、障がい者の方が地域活動に参加できる「ハートフル・カフェ」などの開催で多様な方と出会い、自分の居場所や役割がある場づくりに取り組みます。
- ▶ 高齢になっても人とつながり、生き生きと過ごせるよう「ほっと・笑」を開催します。
- ▶ 「子ども食堂」の開催を通して、子どものいる家庭の支援と子どもたちの居場所を提供します。

## 目的

日ごろから声をかけあい、災害時や認知症になっても安心して暮らすことの出来る体制づくりを目指します。

## 具体的取り組み

- ▶ 避難行動要支援者支援の体制づくりをコミュニティ、自主防災会、自治会、民生委員・児童委員などとの連携を図り、日常の見守りの充実を図ります。
- ▶ 福祉ネットワーク会議の開催などを通して、地域内の関係団体・機関とのつながり、連携を深めるとともに、地域内の課題を共有し課題解決に取り組みます。
- ▶ 「フードパントリー」及び「子ども食堂」開催の中で、支援が必要な家庭を関係機関と連携して見守りを行います。
- ▶ 東友会（高齢者の支えあい）の活動を支援し、高齢者同士のつながりづくりを進めます。

重点  
3

### 見守り・つながり・支えあい（地域での助け合い）



#### 目的

誰もが住み慣れた所で暮らし続けることができるよう、住民相互の助け合いの気持ち

#### 具体的取り組み

- ▶ 広くボランティアを募集、育成するとともに、各関係機関とも連携をしながら、ここ・ほっと（ボランティア部会）の活動の拡充を図ります。
- ▶ 誰もが気軽に相談できるよう、地域の各居場所や開催行事に相談窓口を設け、地域における相談機能を強化します。また、関係機関と連携していきます。
- ▶ 認知症を理解するための講師（キャラバンメイト）活動の充実。

重点  
4

### みんなに知ってもらおう（広報活動）

#### 目的

生活に必要な福祉情報や福祉委員会の活動を地区内のみんなに知ってもらえるよう広報活動に取り組みます。

#### 具体的取り組み

- ▶ 「東谷のふくし」や福祉委員会の活動カレンダーを定期的に全戸配布したり、活動案内チラシの掲示場所を工夫します。また、メールの活用やSNSを取り入れることにより、福祉委員活動のPRと福祉情報を発信します。
- ▶ 福祉講座を開催し、福祉に関する周知、啓発に努めます。

重点  
5

### この指とまれ（人材確保）

#### 目的

福祉委員会事業を見直し整理するなどし、活動しやすい環境を整え、福祉人材の確保に取り組みます。

#### 具体的取り組み

- ▶ 既存の事業を見直したりテーマ型で活動してくれる方を募集します。  
また、世代を問わず活動しやすく気軽に参加できるボランティア活動のきっかけをつくります。
- ▶ 三世代交流会を通して多世代の交流を図り、多様な世代が福祉に関われる場を作ります。
- ▶ 定期的に役員会及び委員会を開催し、活動における課題を共有し話し合うことにより、福祉委員が活動しやすい環境を整えます。

### 東谷小地区 地区別ワークショップ及び検討会議

#### 日 程

- ▷ 令和5年 6月 8日
- ▷ 令和5年12月19日
- ▷ 令和6年 1月 9日
- ▷ 令和6年 1月25日

#### 内 容

- ワークショップ 開催
- ワークショップ 開催
- 検討会議 開催
- 検討会議 開催

## 東谷地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名                           | 内 容<br>内容、回数、定期開催の場合は曜日                      | 区分<br>新規・重点 |
|-------------------------------|--|-------------|
| 1 見守り・支えあい・つながり<br>(居場所づくり)   | 小地域でのふれあいサロンの開催<br>(自治会ごとの拠点)                | 重点          |
|                               | ふらっと・bの開催 <第3木><br>(認知症があってもなくても安心できる居場所)    | 重点          |
|                               | ハートフル・カフェの開催 <第3土><br>(障がいがあってもなくても安心できる居場所) | 重点          |
|                               | カフェ・のぞみの開催 <火・水・金><br>(誰もが集える居場所)            | 重点          |
|                               | ほっと・笑の開催 <第1・3月><br>(高齢者の集える居場所)             |             |
|                               | あひるくらの支援 <第2火><br>(親子の居場所)                   |             |
|                               | フードパントリー・子ども食堂の開催<第1木><br>(子どもの居場所と子育て支援)    |             |
| 2 見守り・支えあい・つながり<br>(仕組みづくり)   | 避難行動要支援者の体制づくり                               | 重点          |
|                               | 東谷SOSネットワーク(東谷安心ネットワーク)                      |             |
|                               | 福祉ネットワーク会議                                   | 重点          |
|                               | 東友会(高齢者の支えあい) <年4回>                          |             |
|                               | 関係団体及び関係機関との連携                               |             |
|                               | 3地区福祉委員会(大和、北陵、東谷)<br>東谷ブロック連絡会に参加 <年3回>     |             |
| 3 見守り・支えあい・つながり<br>(地域での助け合い) | ここ・ほっと(ボランティア部会)の活動                          | 重点          |
|                               | ボランティアの育成、啓発、研修会の開催                          | 重点          |
|                               | キャラバンメイト活動の充実                                |             |
|                               | 相談窓口の設置<br>(各居場所、開催行事時に設置)                   | 重点          |
| 4 みんなに知ってもらおう<br>(広報活動)       | 広報紙の発行及び行事案内<br><福祉情報の提供:年2回、行事カレンダー:年6回>    | 重点          |
|                               | 福祉講座の開催 <年2回>                                |             |
| 5 この指とまれ<br>(人材確保)            | 福祉委員の研修及び定期的な役員会、担当委員会の開催                    | 重点          |
|                               | 三世代交流会の開催 <年1回>                              | 重点          |
| 6 活動拠点の運営                     | プラザひがしたに等地区福祉拠点の維持・運営                        |             |



# 大和地区福祉委員会第5次地区福祉計画



## 地区の特徴

川西市の北東部に位置し、昭和40年代前半から戸建て住宅を中心に開発された、閑静な住宅地です。

能勢電鉄畦野駅、山下駅、笹部駅があるほか、地域の西側には国道173号線、新名神高速道路の川西インターチェンジがあり、地域内には阪急バスが循環するなど交通条件に恵まれています。

豊かな緑や自然にも恵まれ、落ち着いた生活環境です。地域活動が活発で、盆踊り、三世代交流福祉まつり、文化祭、夢ナリエ、とんど大会など四季折イベントでにぎわっています。また、各丁ごとの活動も公園を利用したイベントや会館を利用した交流会などを実施しています。

開発から約50年が経過し、高齢化が進んでいましたが若い世代の転入等により、高齢化率が減少に転じるとともに年少率が増加しており、今後もその傾向が続くと思われます。

## 大和地区の人口、世帯数、年代別推移

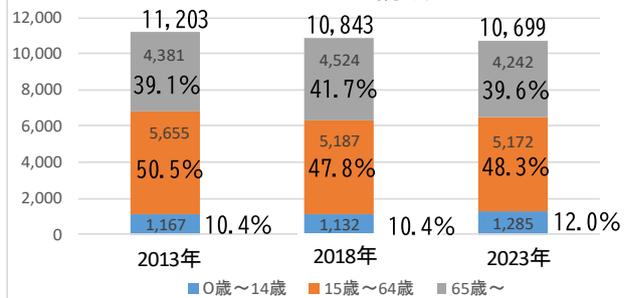
| 年    | 2013    | 2018   | 2023   |       |
|------|---------|--------|--------|-------|
| 世帯数  | 4,732   | 4,788  | 4,833  |       |
| 人口   | 11,203  | 10,843 | 10,699 |       |
| 人口   | 0歳～14歳  | 1,167  | 1,132  | 1,285 |
|      | 15歳～64歳 | 5,655  | 5,187  | 5,172 |
|      | 65歳～    | 4,381  | 4,524  | 4,242 |
| 人口割合 | 0歳～14歳  | 10.4%  | 10.4%  | 12.0% |
|      | 15歳～64歳 | 50.5%  | 47.8%  | 48.3% |
|      | 65歳～    | 39.1%  | 41.7%  | 39.6% |

各年3月末日現在

出典：2013年は、第2次大和地区福祉計画

2018年・2023年は、川西市地域福祉課のデータを基に作成

## 人口・人口構成



## 福祉目標

## 大和地区の人口、世帯数、高齢化率

人口などのデータは  
→ [コチラ](#)



かわナビは  
→ [コチラ](#)



## 向こう三軒両隣 つながりあう福祉のまち 大和

## 地区の重点事業

重点  
1

福祉活動を担う人材の確保と育成

重点  
2

誰もが参加できる居場所づくり

重点  
3

誰もが安心して住み続けられることができる支援の充実

重点  
4

笑顔があふれる子育て支援の充実

重点  
5

地域活動の情報の共有・発信

大和地区福祉委員会のキャラクター  
だいふくちゃん

福祉委員会活動を親しみやすくするため、平成30年（2018年）10月に地区内で公募し、三世代交流福祉まつりで参加者の投票により決定しました。



大和地区福祉委員会のイメージカラー  
ピンク

ピンクは、気持ちを和ませ、リラックスさせてくれる色で、「幸福感」や「安心感」のイメージがあるといわれています。

広報紙等の印刷物やイベント時ののぼりに使用しています。

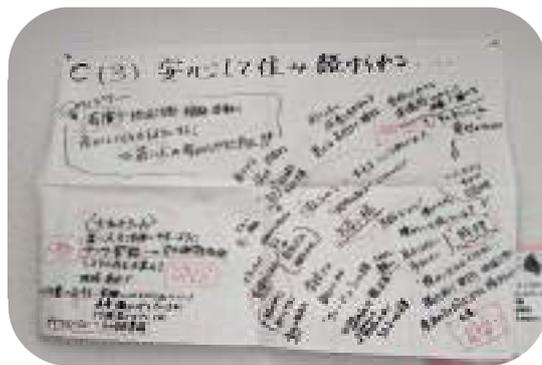
地区別ワークショップでの意見  
2023年7月

- ◆次世代の地域活動の担い手づくり
- ◆特技や趣味を地域の中で発揮できる場づくり
- ◆無関心層に響く企画の実施
- ◆だれでも運営にも参加できるカフェ、飲食とおしゃべりができる場所づくり
- ◆多世代の交流の場ともなり、いつでも誰かがいるような居場所づくり
- ◆気軽に利用できる移動手段や安全な歩道整備
- ◆認知症になってもサポートを得られて住み続けられる地域づくり
- ◆障がい者について知る機会と交流する機会づくり
- ◆公園を活用した交流の機会づくり
- ◆地域の人が子どもを見守り、親を支えていく仕組みづくり
- ◆子どもが地域に愛着を持てるような取り組み等

第4次地区福祉計画からの課題  
(2018年度～2023年度)

- ◆地域活動・ボランティア活動の担い手確保と育成
- ◆川西市社会福祉協議会と地区福祉委員活動の住民へのSNSを利用した情報発信
- ◆すべての世代が交流することができる居場所づくりと運営
- ◆増加するひとり暮らしの高齢者の把握と見守り
- ◆超高齢化に対応する移動手段の確保
- ◆若い世代の転入が多いことから子育て支援の充実
- ◆研修などを通じた福祉委員のサポート
- ◆川西市社会福祉協議会会員会費の啓発等による自主財源の確保

大和福祉ネットワーク会議の様子



交流・通いの場・相談等

三世交流福祉まつり  
 地域イベント参加（盆踊り・とんど大会・大和〜ルドマルシェ）  
 三世交流カフェひだまりサロン（毎週月曜日）  
 マリーゴールドカフェ15（毎月15日）  
 いきいき百歳体操（毎週月曜日）  
 福祉相談（随時）  
 手話教室（毎月第1金曜日）  
 車いすの貸出  
 車いす体験教室  
 手作り作品募集・販売  
 牧の台みどりこども園の支援

小地域活動(14地区)

子育て支援  
 音楽会  
 食事会  
 ラジオ体操  
 大和サロンの管理・運営

情報発信

大和ふくしだよりの発行  
 大和News掲載

見守り

民生委員・児童委員、主任児童委員との連携  
 一人暮らし高齢者等の見守り  
 寝たきり高齢者家族への激励訪問

地域団体等の連携

牧の台コミュニティ協議会  
 大和自治会  
 だいわチケット実行会  
 大和交通検討委員会  
 大和福祉ネットワーク会議  
 大和オレンジの会  
 東谷ブロック連絡会

啓発・財源

川西市社会福祉協議会会員会費募集  
 赤い羽根共同募金  
 フードドライブ



ひだまりサロン  
 みんなで歌いましょう



手作り作品販売



三世交流福祉まつり



手話ってなに



いきいき百歳体操



車いす体験教室



小地域活動 音楽会



小地域活動 子育て支援



アルツハイマー月間 オレンジの花写真展



重点  
1

## 福祉活動を担う人材の確保と育成



### 目的

地域における福祉活動を維持し、充実していくためには、福祉委員、民生委員・児童委員、ボランティア等の身近な人の連携が必要です。これらの人の高齢化が進んでおり、次世代の人材を確保するとともに育成に取り組めます。

### 具体的取り組み

#### ◆福祉委員会活動を広く住民にPRします。

- ①「大和ふくしだより」を発行し、全戸配布するとともにSNS（LINE・インスタグラム）を通じて発信します。
- ②地域のイベントに参加する時には、「大和地区福祉委員会（川西市社会福祉協議会）」の看板やのぼりを掲出するとともにユニフォーム等を着用します。
- ③地域住民に福祉委員会活動の理解を深め、川西市社会福祉協議会会員会費の啓発など自主財源の確保に努めます。

#### ◆あらゆる世代の地域活動参加を促進します。

- ①幅広い年齢層（定年後の世代、若い世代、学生、障がい者等）が少しの時間をボランティア活動に参加できるきっかけ作り（具体的に何をしたいかを明確にする。若い世代は土・日の活動。SNSでの発信）や有償ボランティアの仕組みを検討します。
- ②地域の特技を持った人の情報を収集し、地域活動への参加を促します。

#### ◆福祉委員が活動しやすい環境を整えます。

- ①川西市や川西市社会福祉協議会が実施する講演会や福祉委員会が開催する協議の場で課題を共有し、その課題等をテーマにした福祉委員の研修を充実します。



重点  
2

## 誰もが参加できる居場所づくり

### 目的

大和地域は、自治会館・牧の台会館・大和サロン・野波邸などで高齢者、子どもや親の交流の場を設けています。一人暮らしの高齢者や若い世代の転入者が増加している中で、世代を越えた交流ができる居場所づくりが求められていることから、新たな居場所づくりと事業内容の見直しを進めていきます。

### 具体的取り組み

#### ◆誰もが参加できる居場所づくりを進めます。

- ①関係機関・関係団体と連携して、小地域での交流の場を充実（既存の施設のほか事業所、介護施設、空き家の活用等の検討）するとともに、資源mapを作成するなど情報を提供します。
- ②一人暮らしの高齢者や子育て世代、小中学生などあらゆる層が集える事業を実施するとともに、運営に携わるボランティアの確保に努めます。
- ③要支援者（障がい者、孤立している人、ヤングケアラー等）に対する支援を検討します。



重点  
3

誰もが安心して住み続けられることができる支援の充実

目的

誰もが、住み慣れた地域で、安心して、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう取り組みます。

具体的取り組み

◆支える側と支えられる側に分かれるのではなく、住民それぞれが役割を持ち、支えあいながら、自分らしく活躍できる環境を整えます。

- ①健康寿命を伸ばす活動を自ら行うことを促進するとともに、関係機関と連携しながら講座などを開催します。
- ②誰もが支える側と支えられる側になるような仕組みを作ります。
- ③地域共生社会\*1が構築できるように、関係機関・関係団体との連携を拡大します。
- ④「だいわチケット実行会」等と連携して、高齢者等の見守りや生活支援の充実を図ります。

◆支援が必要な人に対して見守りや声かけの体制を充実します。

- ①福祉委員や民生委員・児童委員等が情報を共有しながら、一人暮らしの高齢者や障がい者等の見守りを充実します。
- ②認知症の見守り協力者を拡大するため、認知症の理解を深める講座を開催するとともに、キャラバンメイト活動\*2を支援します。また、地区内の事業所と連携して見守りにつなげます。
- ③川西市の「行方不明者SOSネット」への登録を促進します。
- ④日頃の散歩や公園での交流を通じて、見守り活動につなげていきます。また、災害時における要支援者の安否確認等に協力します。
- ⑤判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者が安心して地域で生活でき、権利が守られ、必要な援助が受けられる成年後見制度の周知を図ります。

◆移動手手段の確保と利用しやすい環境の整備に取り組みます。

- ①坂が多く、駅や買い物施設等からの移動が困難になっています。また、高齢者の運転免許証返納の増加が見込まれることから、地域内のバスの確保と利便性を向上するため、バス利用を促進します。
- ②歩道の安全確保と段差解消などのバリアフリー化を働きかけます。



重点  
4

笑顔があふれる子育て支援の充実

目的

子育て支援については、地域内で多様な事業を実施しています。若い世代の転入者が増加する中で、親がつながり、子どもたちが心豊かに、のびのびと生活することができる環境づくりに取り組みます。

具体的取り組み

◆参加しやすい子育て支援活動を推進します。

- ①牧の台みどりこども園等と協議しながら、就園前の子育てを支援します。
- ②地域内で実施している子育て支援事業をネットワーク化し、分かりやすく情報を提供するとともに若い世代のつながりを促進します。
- ③高齢者と若い世代との交流の機会を作るため、三世代交流福祉まつりを継続して実施します。

◆子どもの安全と安心を守ります。

- ①登下校時には、お互いが挨拶を交わす「あいさつ運動」を推進します。
- ②地域の公園が利用しやすい環境整備（利用者による草抜き等）を働きかけます。



## 目的

地域では、福祉委員会をはじめ様々な団体が活動しています。これらの活動の情報を共有できるよう活動団体の連携に取り組みます。

## 具体的取り組み

◆大和福祉ネットワーク会議等を開催し、情報交換や地域の課題を明らかにして、その解決に努めます。

- ①「大和福祉ネットワーク会議」を開催し、行政や川西市社会福祉協議会とともに地域とつながりのある団体、事業者等と意見交換をしながら、より良い地域づくりに努めます。
- ②福祉活動について、地域内の事業所に情報提供を行うとともに、事業への参画を促進します。
- ③学校・保護者・自治会・コミュニティ協議会等の連携体制を強化します。
- ④学校の児童・生徒に対する、「車いす体験教室」や「認知症の理解教育」等を支援します。

◆地域の相談窓口を充実します。

- ①カフェ等居場所に参加したときに気軽に相談できる環境を作るとともに、相談内容によって、適切な機関を紹介する体制を整えます。

◆福祉委員や住民を対象にした「福祉講座」を開催します。

- ①行政や川西市社会福祉協議会・福祉委員会が実施する福祉に関するイベントや講座を紹介し、福祉意識の向上に努めます。

## 策定経過



|      |        |                   |
|------|--------|-------------------|
| 令和5年 | 3月29日  | 第4次大和地区福祉計画評価委員会  |
|      | 7月12日  | 大和福祉ネットワーク会議（第1回） |
|      | 11月15日 | 大和福祉ネットワーク会議（第2回） |
|      | 12月14日 | 策定委員会             |
|      | 12月19日 | 策定委員会             |
| 令和6年 | 1月10日  | 策定委員会             |
|      | 1月17日  | 理事会               |
|      | 1月31日  | 福祉委員会             |
|      | 2月 7日  | 策定委員会             |
|      | 2月21日  | 大和福祉ネットワーク会議（第3回） |
|      | 3月 6日  | 策定委員会             |



令和5年7月12日 大和福祉ネットワーク会議

（策定委員）

岩井 健 野中健一 山本沙貴子 三木一子 飯野洋子 後藤哲雄 岩崎志摩子  
今西美知子 植田淑子 塚谷由美子 今井俱子 宮本美奈子（社協） 濱田真帆（社協）

## 大和地区福祉委員会事業一覧表

### 1 福祉活動を担う人材の確保と育成

| 事業名                  | 区分 | 内容、回数、定期開催の場合は曜日                   |
|----------------------|----|------------------------------------|
| 「大和ふくしだより」発行         | 継続 | 福祉委員会活動を掲載 年3回発行                   |
| SNS（LINE・インスタグラム）の発信 | 新規 | 環境を構築して随時発信                        |
| 地域のイベントへの参加          | 継続 | 盆踊り、とんど大会等                         |
| ユニフォーム等を着用           | 新規 | ユニフォームの製作                          |
| 川西市社会福祉協議会会員費募集      | 継続 | 会員増加の方法を検討し、実施                     |
| ボランティア登録             | 拡充 | 随時（時間・内容等を明示）<br>特技を持った人の発掘の仕組みを検討 |
| 有償ボランティアの検討          | 新規 | 調査・検討                              |
| 福祉委員研修               | 継続 | 随時                                 |

### 2 誰もが参加できる居場所づくり

| 事業名                  | 区分 | 内容、回数、定期開催の場合は曜日        |
|----------------------|----|-------------------------|
| 三世代交流カフェ「ひだまりサロン」の運営 | 継続 | 毎週月曜日                   |
| 「マリーゴールドカフェ15」の運営    | 継続 | 月1回（毎月15日）              |
| 「大和サロン」の運営           | 継続 | 小地域活動の拠点として活用           |
| 小地域活動推進              | 継続 | 随時（14地区での活動）            |
| 資源map作成              | 新規 | 地域活動拠点・介護施設等地域資源のmapを作成 |
| 要支援者支援               | 継続 | 要支援者の情報収集・支援の検討         |

### 3 誰もが安心して住み続けられる支援の充実

| 事業名                    | 区分 | 内容、回数、定期開催の場合は曜日 |
|------------------------|----|------------------|
| 健康寿命を伸ばす講座の開催          | 継続 | 年1回              |
| 地域共生社会構築の働きかけ          | 継続 | 随時               |
| 「だいわチケット実行会等」との連携      | 継続 | 随時               |
| 一人暮らしの高齢者や障がい者等の見守りの充実 | 継続 | 随時               |
| 寝たきり高齢者世帯家族への激励訪問      | 継続 | 年1回              |
| 認知症の理解を深めるための講座開催      | 継続 | 年1回              |
| キャラバンメイト活動の支援          | 継続 | 随時               |
| 川西市「行方不明者SOSネット」登録促進   | 継続 | 随時               |
| 災害時要支援者の安否確認等協力        | 継続 | 大和地区防災会と連携       |
| 成年後見制度PR事業             | 継続 | 随時               |
| 移動手段の確保（バス利用の促進）       | 継続 | 随時               |
| 車いすの貸出し                | 継続 | 随時               |
| 手話教室の開催                | 継続 | 月1回              |

### 4 笑顔があふれる子育て支援の充実

| 事業名                | 区分 | 内容、回数、定期開催の場合は曜日 |
|--------------------|----|------------------|
| 牧の台みどりこども園等との連携    | 継続 | 子育て支援の充実         |
| 子育て支援事業の情報提供       | 継続 | 随時               |
| 三世代交流福祉まつりの実施      | 継続 | 年1回              |
| あいさつ運動             | 継続 | 随時               |
| 利用しやすい公園の環境整備の働きかけ | 継続 | 随時               |

### 5 地域活動の情報の共有・発信

| 事業名                     | 区分 | 内容、回数、定期開催の場合は曜日 |
|-------------------------|----|------------------|
| 大和福祉ネットワーク会議の開催         | 継続 | 年3回              |
| 地域内の事業所に情報提供及び参加促進      | 継続 | 随時               |
| 地域活動団体等との連携強化           | 継続 | 随時               |
| 「車いす体験教室」や「認知症の理解教育」の実施 | 継続 | 随時               |
| 相談窓口の充実                 | 継続 | 月1回から随時へ         |
| 住民を対象にした福祉講座の実施         | 継続 | 随時               |
| 東谷ブロック連絡会               | 継続 | 年3回              |



## 北陵地区福祉委員会 第5次地区福祉計画

### 地区の特徴

川西市の北西に位置し昭和45年から徐々に宅地開発が進み平成15年まで続きました。周りは美しい山に囲まれ緑豊かな閑静な住宅街です。北陵地区も住民の高齢化が進み、65歳以上の人口が30%を占めるようになりました。そこで北陵地区の福祉活動として一人暮らし高齢者の仲間づくり、声掛け、見守り活動及び全住民を対象とした健康と心の癒し広場として「いこいこ北陵」を開催しています。ふれあいと助け合いが満ちあふれる街づくり、安心安全な街づくりに引き続き取り組みます。

### 北陵地区の人口、世帯数、高齢化率

人口などのデータは  
→ [コチラ](#)



かわナビは  
→ [コチラ](#)



### 福祉目標

## 世代を超えたふれあいと助け合いの街

### 地区の重点事業

重点  
1

福祉活動を行う人材確保と育成

重点  
2

地域住民の居場所作り

重点  
3

地域住民の生活課題を連携して支援する

重点  
4

介護予防の対策

### 地区別ワークショップでの意見

- ◇子どもから高齢者まで、誰もが住み続けられる地域。
- ◇助け合い、支え合いができる関係づくり。
- ◇人と人とが知り合い、分かり合える機会をつくる。
- ◇利用しやすい移手段の確保、維持。

### 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- ◇いこいこカフェを通して、子育て世代に福祉活動の理解を深めたい。
- ◇引き続き広報紙とLINEの情報発信で幅広い世代に福祉委員会活動を知ってもらおう。
- ◇初めての方や障がい者の方の参加は民生委員・児童委員の協力を得ながら行う。
- ◇集会所以外で「カフェ」の居場所づくり。

現在の地区の取り組み

- 福祉ネットワーク会議
- 「いこいこ北陵」
- 「いこいこカフェ」
- 「福祉講座」
- 「ふれあい北陵」広報紙の発行
- 「福祉委員研修会」
- LINE公式アカウントによる広報
- コミュニティ「福祉・生涯学習部会」連携活動
- 福祉相談窓口運営
- 防災訓練
- ボランティア「ひまわり」
- 「福祉フェア」
- 「新人研修会」
- 認知症サポーター養成講座
- 障がい者との交流



「いこいこ北陵」 毎週月曜日 10:00~15:00 於：北陵集会所



朝：ストレッチ体操



「いこいこカフェ」  
カプセルコーヒー  
で淹れています



囲碁 クラブ



ハーモニカ クラブ

手芸 クラブ

- ・パッチワーク
- ・かぎ針
- ・棒編み
- ・レース編み
- ・折り紙 など



麻雀 クラブ

《季節の行事 イベント》



5月 介護予防倶楽部  
「楽しく動いて認知症予防」



8月 ふるさとまつり



3月 ひな祭り



9月 「長寿を祝う会」  
クロマチックハーモニカ演奏会



12月 クリスマス会  
マリンバ演奏会



1月 「新年を祝う会」 初釜  
お琴演奏と唄



3月 「福祉フェア」 パザール



3月 「福祉フェア」 落語会



1月 「新年を祝う会」 初釜  
スタッフ紹介



## 目的

若い世代から高齢者世代まで、出来る範囲で幅広い人材を確保し、さまざまな世代の多様なニーズを捉えます。

## 具体的取り組み

- ▶ コミュニティ・自治会・その他の団体と更なる交流を図り幅広い人材確保を行います。
- ▶ 行事または事業ごとに、関心ごとや特技などで参加できるボランティアを募ります。
- ▶ 短時間のボランティア活動を設けて、子育て世代にも福祉活動に参加できる仕組みづくりを行います。
- ▶ “ちょっとだけボランティア”の「いこいこカフェ」で、福祉活動の担い手へと繋がります。
- ▶ 広報紙やLINEによる発信で、福祉の重要性を啓発します。
- ▶ 福祉活動の財源は、社協会員会費や赤い羽根共同募金の助成金を活用していることを多くの住民に周知します。



## 目的

いこいこ北陵（毎週月曜日10：00～15：00）・いこいこカフェを開催することで誰もが楽しく集える居場所を維持します。

## 具体的取り組み

- ▶ 「いこいこ北陵」に参加する事で、人とのつながりや信頼関係がこれまでも構築されていますが、引き続き維持継続します。
- ▶ 公民館の1室に、認知症の当事者や介護者の気持ちを共有できる居場所「※オレンジカフェ」を新規創設します。
- ▶ 「オレンジカフェ」には、東谷地域包括支援センター・民生委員・児童委員にも参加協力を依頼します。認知症当事者や介護者だけでなく、地域住民のあらゆる人（子どもから高齢者、障がい者）が立ち寄り、自由に交流出来る居場所づくりを目指します。

※「オレンジカフェ」：「認知症カフェ」は2015年「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」によって始まった。オレンジプランは認知症の当事者が住み慣れた住みやすい場所で引き続き生活できることを目的とし、この施策の名前から認知症カフェは「オレンジカフェ」とも呼ばれる。

重点  
3

地域住民の生活課題を連携して支援する



目的

誰もが安心して住み続けることができるように、支援を必要とする人を、民生委員・児童委員・東谷地域包括支援センター・川西市社会福祉協議会・関係団体に繋がります。

具体的取り組み

- ▶ 居場所での「見守り」「車イス貸し出し」などで得た情報を民生委員・児童委員と共有し支援対策に努めます。
- ▶ 孤立している世帯などは民生委員・児童委員と連携し、東谷地域包括支援センターや川西市社会福祉協議会など関係団体へと繋がります。
- ▶ 近距離の移送支援について、諸団体と密に連携します。

重点  
4

介護予防の対策

目的

誰もが住み慣れた街で、生きがいを持って最後まで暮らせるようにする為の予防に取り組めます。

具体的取り組み

- ▶ 「いこいこ北陵」で毎週実施しているストレッチ体操は、引き続き維持継続します。
- ▶ 健幸測定会、介護予防倶楽部、脳活性化体操を継続します。
- ▶ キャラバンメイト活動を通して、あらゆる世代に認知症の理解を深める活動を継続します。

北陵地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

| 日程              | 内容              |
|-----------------|-----------------|
| ▷令和5年 6月 3日(土)  | 地区別ワークショップ 開催   |
| ▷令和5年 6月 3日(土)  | 地区福祉計画策定検討会議 開催 |
| ▷令和5年 9月 7日(木)  | 地区福祉計画策定検討会議 開催 |
| ▷令和5年 10月 5日(木) | 地区福祉計画策定検討会議 開催 |
| ▷令和5年 10月19日(木) | 市社協と策定検討会議 開催   |
| ▷令和5年 11月 2日(木) | 地区福祉計画策定検討会議 開催 |
| ▷令和5年 12月14日(木) | 地区福祉計画策定検討会議 開催 |
| ▷令和6年 1月 5日(金)  | 事務局役員策定検討会議 開催  |
| ▷令和6年 1月11日(木)  | 地区福祉計画策定検討会議 開催 |
| ▷令和6年 1月26日(金)  | 市社協と策定検討会議 開催   |
| ▷令和6年 2月 1日(木)  | 地区福祉計画策定検討会議 開催 |



## 北陵地区福祉委員会事業一覧表

| 事業名                   | 区分          | 内 容  |
|-----------------------|-------------|--|
|                       | 新規・重点       | 内容、回数、定期開催の場合は曜日   |
| 「いこいこ北陵」の開催           | 重点2.3.4     | ・居場所づくりとして趣味の会、映画会、季節行事を開催<br>・毎週月曜日 10:00~15:00                           |
| 「いこいこカフェ」開催           | 重点1.2       | ・誰もが楽しく集える居場所づくり<br>・「いこいこ北陵」開催時に開店  |
| 「オレンジカフェ」開催           | 新規<br>重点2.3 | ・認知症当事者、介護者だけでなく地域住民のあらゆる人が集える居場所<br>・開催時期検討中                              |
| 「福祉講座」の開催             | 重点1.4       | ・住民の関心事や役立つ講座を開催する<br>・年2回開催   |
| 「ふれあい北陵」広報紙           | 重点1.2.4     | ・年3回発行。全戸配布  |
| LINE公式アカウントによる広報      | 重点1.2.4     | ・「いこいこ北陵」月ごとの予定・3か月予定の配信<br>・「福祉講座」「福祉フェア」開催や、ボランティア募集などを配信                |
| ポスター掲示                | 重点1.2.4     | ・住宅内6か所掲示板、花咲く丘の街マンション、さぎそう園、東谷地域包括支援センターへ掲示<br>・「福祉講座」「福祉フェア」開催など案内を自治会回覧 |
| 福祉相談窓口運営              | 重点2.3       | ・福祉相談を行い、生活課題などの支援へと繋ぐ<br>・毎月第1月曜日 10:00~12:00                             |
| 防災訓練                  | 重点3         | ・北陵自主防災会防災訓練に参加  |
| ボランティア「ひまわり」          | 重点1.3       | ・ボランティア構成員の追加募集（若い層を増やす）<br>・随時ボランティア活動を行う                                 |
| 福祉ネットワーク会議開催          | 重点3         | ・年2回開催<br>・地域課題を共有し連携協力する  |
| 福祉フェアの開催              |             | ・落語、バザーなどを開催<br>・年1回開催   |
| 新人研修会の開催              | 重点1         | ・福祉委員の理解を深める研修会<br>・年1回開催  |
| 障がい者との交流              | 重点1.3       | ・音楽演奏会開催<br>・県立川西カリヨン特別支援学校と交流   |
| コミュニティ「福祉・生涯学習部会」連携活動 |             | ・ココスク北陵小の「寺子屋」、青少年育成「しめ縄づくり」の支援  |
| 福祉委員研修会               | 重点1.3.4     | ・施設視察などの市外研修を実施<br>・年1回開催  |
| 認知症サポーター養成講座          | 重点3.4       | ・認知症の理解を深める  |